

9 教育費

1 教育総務費 2 事務局費

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 361

2001 スクールバス運行に要する経費 15,153,600 円 (14,361,840 円)

[一財 15,153,600 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童・生徒の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・小文間地区スクールバス運行業務委託料 7,920,000 円
- ・小堀地区スクールバス運行業務委託料 7,233,600 円

○ 効果

対象児童・生徒に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 361

2201 通学送迎に要する経費 4,127,038 円 (3,522,499 円)

[一財 4,127,038 円]

○ 目的

遠距離通学となる児童の安全な通学手段を確保する。

○ 内容

- ・桜が丘小学校通学送迎委託料(大留地区) 942,480 円
- ・永山小学校通学送迎委託料(市之代・貝塚地区) 2,468,400 円

○ 効果

対象児童に対して、登下校時の安全な通学手段が確保できた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 361

2301 教育情報機器整備に要する経費 206,436,348 円 (150,233,254 円)

[国・県 58,630,858 円 地方債 3,080,000 円 一財 144,725,490 円]

* 特財内訳

[国補：学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金 780,000 円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 57,850,858 円]

[市債：中学校校内 LAN 改修事業債 600,000 円]

[市債：減収補てん債 2,480,000 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した校務処理を行うために、教育情報ネットワークを構築し、教育委員会と小中学校の事務の効率化を図る。

○ 内容

小中学校において、児童生徒が ICT 機器を活用した授業及び教職員が校務事務を円滑に実施するために、教育委員会と学校が情報を共有する教育情報ネットワークを構築することで、事務の効率化と個人情報の保護を図った。

また、国が推進する GIGA スクール構想を実現するために必要となる、光回線の導入、

ネットワーク機器やパソコンの設定業務委託を実施した。

・教育用ネットワーク構築業務委託料	15,233,900 円
・ICT活用教育支援スタッフ業務委託料	9,625,000 円
・教育センターシステムクラウド運用管理委託料	9,438,000 円
・教育用パソコン設定業務委託料	40,206,200 円
・教育センターシステムクラウド使用料	45,893,100 円
・教育用パソコンソフト使用料	8,860,495 円
・教育・校務用パソコン使用料	7,750,080 円
・校務支援システム使用料	9,108,000 円
・教職員用パソコン使用料	42,742,080 円
・インターネット回線工事	413,600 円

○ 効果

教育情報ネットワークの活用により、教育委員会と小中学校の事務の効率化と個人情報保護が図られた。また、市立小中学校でタブレット端末を用いた授業を行うためのネットワーク整備をすることができた。

【担当：指導課】 P. 363

3101 いじめ防止対策に要する経費 11,823,270 円 (18,101,694 円)

[一財 11,823,270 円]

○ 目的

いじめは常に起こり得るという現実を見つめ、いじめを早期に発見し、いじめの芽を摘むための意識改革と仕組みづくりに全力で取り組み、教育の場が子どもたちにとり安寧な場所となるよう努めていく。

平成31年3月20日、県より取手市立中学校の生徒の自殺事案に係る調査結果・評価結果が示された。令和2年1月18日に、取手市いじめ問題専門委員会より、取手市立中学校の生徒の自死事案に係る再発防止策の提言が取りまとめられた。

二度とこのような悲しい事案を起こすことのないよう、市教育委員会と全公立小中学校は一体となり、いじめ再発防止策の提言の一つ一つをしっかりと学校現場に根付かせ、教職員はチームとして児童生徒の日常の小さな変化を見守り、いじめの早い段階から迅速かつ適切に対応していく。

○ 内容

・教育資質・能力向上研修講師謝礼	34,000 円
・学級集団アセスメントアンケート用紙購入	2,378,660 円
・スクールカウンセラー・スーパーバイザー支援業務委託料	8,670,750 円
・いじめ防止アプリ使用料	739,860 円

○ 効果

取手市立中学校の生徒の自死事案に係る再発防止策の提言を踏まえ、令和2年4月より、市教育委員会並びに市内全公立小中学校は、重点施策として、(1)全員担任制(小学校はチーム指導)、(2)教育相談部会システムの導入、(3)2学期制の導入からなる「取手市の新しい学校教育3つの取組」を開始した。スクールカウンセラー・スーパーバイザー(以下、SSV)2名と学校連携支援員3名は、各小中学校に新たに立ち上げた教育相談部会に参加し、児童生徒の発達に関する事、カウンセリング業務に関する事に

についての助言・指導、個別事案への対応、研修会の開催などを通して学校を支援し、新たな制度・システムの円滑な導入を推進した。(SSV の教育相談部会への延べ参加回数: 289 回)

[担当：指導課] P. 365

3103 新型コロナウイルス感染症対策経費 663,960 円

[国・県 663,960 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 663,960 円]

○ 目的

学校の教育相談室における飛沫対策として、パーティションを配置する。

○ 内容

パーティション購入(中学校 6 校分 18 枚) 663,960 円

○ 効果

学校の教育相談室における飛沫対策を行い、相談者及び教職員の安全確保を図ることができた。

1 教育総務費 3 育英事業費

[担当：教育総務課] P. 365

2101 奨学生貸付金 3,000,000 円 (3,000,000 円)

[その他 3,000,000 円]

* 特財内訳

[諸収入：奨学金貸付金元利収入 3,000,000 円]

○ 目的

経済的に修学が困難な大学生・短大生に奨学金を貸し付け、有為な人材を育成する。

○ 内容

貸付額 国公立大学:月額 30,000 円、私立大学:月額 40,000 円

貸付者数

種別	令和2年度 (内 新規貸付)	令和元年度 (内 新規貸付)	平成30年度 (内 新規貸付)
国公立大学	3名	3名	5名(1)
私立大学	4名(1)	4名(1)	6名(1)
合計	7名(1)	7名(1)	11名(2)

○ 効果

経済的負担の軽減を行い、有為な人材の育成に寄与することができた。

1 教育総務費 4 教育研究指導費

[担当：指導課] P. 365

0501 教育振興に要する経費 98,037,589 円 (79,039,853 円)

[国・県 1,824,091 円 一財 96,213,498 円]

* 特財内訳

[国委：学校図書館の振興に向けた調査研究委託事業委託金 229,311 円]

[県補：原子力・エネルギー教育支援事業補助金 1,594,780 円]

○ 目的

国際化、情報化、科学技術の飛躍的な発展の中で、変化の大きな社会に対応できる児童生徒の育成が必要である。基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことができるよう、教育の充実を図る。そこで、英語指導助手との連携による授業、地域人材を活用した授業などの実践を行う。

また、読書のすばらしさを広めていくため、たった一冊でも心から誰かにすすめたくなるような魅力的な本との出会いをした児童生徒にスポットをあて、賞賛し、市全体に本の魅力を広めていく。

○ 内容

- ・英語指導助手業務委託料 60,060,000 円
英語指導助手(ALT)14人(中学校6人・小学校8人配置)を民間専門業者に委託し、英語教育の充実に努めた。また、英語指導助手と児童生徒との交流により国際教育の充実に図った。
- ・地域人材活用事業講師謝礼 350,000 円
- ・理科教育用教材購入 1,594,780 円
- ・みんなにすすめたい一冊推進事業 229,311 円

○ 効果

学習指導要領改訂に伴う外国語の教科化に伴い、令和元年度から授業時数が大幅に増えているが、ALTの増員によって、小学校における全ての外国語の授業でALTを活用した授業を実施することができた。中学校では、1校に1名のALTを配置することにより、外国語科の時間はもとより、学校生活全体で国際教育の充実に図られた。また、自校や他校の児童生徒が薦める本が、子供たちにとって大変魅力的なものとなり、選書の幅が広がり本を借りる児童生徒が増加した。

[担当：指導課] P. 367

0502 新型コロナウイルス感染症対策経費 5,543,887 円

[国・県 5,543,887 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 5,543,887 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、取手市立小中学校における修学旅行及び校外学習の中止または延期等に伴い発生した追加的経費を市が支援する。

○ 内容

修学旅行等中止に伴うキャンセル料等補助金

小学校 8校 776,862 円

中学校 6校 4,767,025 円

○ 効果

保護者の経済的負担を軽減することができた。

[担当：指導課] P. 367

1001 特別支援教育に要する経費 6,479,065 円 (6,109,992 円)

[国・県 460,000 円 一財 6,019,065 円]

* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 303,000 円]

[県補：地域生活支援事業補助金 157,000 円]

○ 目的

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援し、保護者や教職員からの相談に応じるとともに、市内小中学校の特別支援教育の充実を図る。

○ 内容

(1) 特別支援教育相談員等の配置

幼児・児童・生徒の就学や適応に関する調査及び教職員や保護者に対する相談活動を行った。

・相談件数

区 分	R2 年度	R1 年度
未就学児に関して	103 件	90 件

(2) 教育支援委員会の実施

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の適切な就学のため、医師・特別支援教育担当者等で構成する委員会において就学についての審議を実施した。

・判定人数

区 分	R2 年度(111 人)	R1 年度(142 人)
新学齢児	53 人	46 人
在学児童生徒	58 人	96 人

(3) 特別支援教育サポート事業の実施

地域における特別支援教育相談体制を充実させるとともに、小中学校等における特別支援教育校内体制の整備と活用に関する支援を行った。

・講演会への参加者

区 分	R2 年度	R1 年度
研修会参加人数	52 人	112 人

- ・特別支援教育相談員報酬(3 人分) 4,085,128 円
- ・発達検査謝礼 864,000 円
- ・訪問相談謝礼 1,000,000 円

○ 効果

特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の課題について早期に発見できたことにより、幼児教育施設と小中学校が連携して適切な支援を行うことができた。

また、市内小中学校における特別支援教育校内体制を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 369

2301 教育総合支援センターに要する経費 34,320,901 円 (24,197,172 円)

[国・県 860,000 円 その他 27,702 円 一財 33,433,199 円]

* 特財内訳

[国補：地域生活支援事業補助金 372,000 円]

[県補：地域生活支援事業補助金 180,000 円]

[県委：スクールライフサポーター配置事業委託金 308,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 27,702 円]

○ 目的

児童生徒及び保護者からの学校生活における相談に応じ、支援を行う。そして、いじめ、不登校児童生徒等に対応するために、児童生徒が在籍する小中学校や関係機関との連携のもと、適切な支援を行う。また、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、スクールロイヤーの専門家及び学校連携支援員とともに、学校の相談体制についてもサポートする。

さらに、不登校児童生徒のための適応指導教室を教育総合支援センターに併設することにより、学習面、人間関係の面での指導支援を継続的に行い、児童生徒の学習の機会を保障し、併せて所属する学校への適応も目指す。

○ 内容

・教育相談員報酬	7,317,702 円
・学校連携支援員報酬	3,360,805 円
・スクールカウンセラー報酬	4,116,000 円
・スクールソーシャルワーカー報酬	1,725,000 円
・スクールライフサポーター謝礼	303,000 円
・子どもと親の相談員謝礼	3,495,000 円
・スクールロイヤー委託料	726,000 円

○ 効果

令和2年度に市内全小中学校における教育相談部会の立ち上げにあたっては、2名のスクールカウンセラー・スーパーバイザー(以下、SSV)とともに、学校連携支援員及び学校教育相談員、スクールソーシャルワーカーの専門職員が学校運営における支援を行い、円滑な新制度の導入を推進した。

また、SNSでのトラブルなど、新たな課題への対応においては、法的な観点を踏まえ、スクールロイヤーが助言・指導を行い、学校現場における個々の事案に対して、早期の段階から適切に対応を行うことができた。

不登校児童生徒のための適応指導教室「ひまわりルーム」では、教育相談員がきめ細かな指導及び支援を行い、令和2年度は小中学生計15人の通室者のうち、8人が適応指導教室に通室しながら小中学校に通学することが可能となった。

年 度	通室者数	復帰数	復帰率
R2	15 人	8 人	53.3%
R1	20 人	13 人	65.0%

子どもと親の相談員を全小中学校に配置し、児童・生徒及び保護者のための相談活動を充実させることができた。

[担当：指導課] P. 371

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,303,400 円

[国・県 2,303,400 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,303,400 円]

○ 目的

教育総合支援センターにおける施設衛生対策及び相談業務、研修業務における飛沫対策等の新型コロナウイルス感染症対策に資する備品を配備し、安全・安心な事業の継続性を確保する。

○ 内容

- ・ 廃棄物収集庫 165,000 円
- ・ 研修用机・椅子 1,164,900 円
- ・ パーティション(4枚) 198,000 円
- ・ 分散遠隔研修用備品(プロジェクター、音響機器) 775,500 円

○ 効果

教育総合支援センターにおける衛生対策及び飛沫対策を行い、相談者並びに教職員の安全を確保し、事業を継続することができた。

[担当：指導課] P. 371

4201 日本語指導員に要する経費 2,666,534 円 (3,158,718 円)

[一財 2,666,534 円]

○ 目的

日本語指導を必要とする帰国児童生徒及び外国人児童生徒への日本語の指導を通して、学校生活を援助する。

- (1) 学校での日本語指導への協力
- (2) 教科書・指導資料等の翻訳
- (3) 学校での保護者への通訳等

○ 内容

- ・ 日本語指導員報酬 2,573,699 円

年度	指導員数	支援対象児童生徒の言語の内訳
R2	7人	中国語1人 ポルトガル語2人 英語5人 韓国語2人 スペイン語2人
R1	8人	中国語2人 ポルトガル語6人 英語3人 韓国語2人 スペイン語2人

○ 効果

日本語指導員が支援することにより、帰国児童生徒及び外国人児童生徒の学校生活への適応が図られた。

[担当：指導課] P. 373

4501 学力向上推進事業に要する経費 301,847 円 (1,026,050 円)

[国・県 294,000 円 一財 7,847 円]

* 特財内訳

[県委：学びの広場サポートプラン委託金 294,000 円]

○ 目的

児童生徒に基礎的・基本的な内容の習得を図り、確かな学力を育成する。

○ 内容

- ・ 学びの広場サポートプラン講師謝礼(算数) 294,000 円

(希望する小学校の4・5年に学習支援員を各学級1人ずつ、1人あたり最大10時間配置)

○ 効果

小学校4・5年生を対象に、算数における基礎学力の習得を図ることで、児童の学ぶ意欲の向上を図ることができた。

[担当：指導課] P. 373

5301 土曜日学習支援事業に要する経費 444,796円 (475,528円)

[国・県 296,000円 一財 148,796円]

* 特財内訳

[県補：地域の教育支援体制等構築事業費補助金 296,000円]

○ 目的

土曜日に、児童生徒に学習の機会と場所を提供し、自ら進んで学習する習慣を身につけるとともに、学力向上を図る。

○ 内容

取手市内の小学校高学年と中学3年生を対象に、児童生徒が持参した学校の課題や教材等で自主学習を行う場所を、福祉会館・永山小コミュニティスペース・藤代庁舎の3会場に設ける。学習を支援する人材として、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアを活用する。

会場	福祉会館	永山小コミュニティスペース	藤代庁舎
児童数	34人	34人	23人
生徒数	5人	6人	24人
学習支援員数	5人	4人	5人
高校生ボランティア数	18人	12人	30人

- ・土曜日学習支援員謝礼 400,000円
- ・消耗品等 23,796円
- ・ボランティア保険料 21,000円

○ 効果

自ら進んで学習する習慣が身につくとともに、日常では関わることの少ない、退職教員や教員志望の学生、高校生ボランティアと交流する貴重な場となった。

[担当：指導課] P. 373

5401 オリンピック・パラリンピック教育推進事業に要する経費

82,824円 (146,871円)

[国・県 82,824円]

* 特財内訳

[県委：オリンピック・パラリンピック教育推進事業委託金 82,824円]

○ 目的

オリンピック・パラリンピックムーブメントの普及・推進を図るとともに、スポーツ機運の醸成を図り、児童生徒が生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

○ 内容

取手小学校において、国際パラリンピック委員会公認教材を活用しての授業や「パラリンピックについて調べよう」の授業のなかで、まとめの新聞づくりを行った。また、パラアスリートを招いての講演会やパラスポーツ体験授業を行った。

・講師謝礼 15,000 円

○ 効果

現役パラアスリートによる体験を交えた講演会を実施した結果、その能力の高さを実感することができた。また、障害があっても健常者と同様に目標や夢を持ち、仲間や家族に支えられながら努力することに生きがいを感じていることを知り、その素晴らしさを理解するとともに、様々な目標に挑戦する意欲や困難に負けない勇気をもらうことができた。

[担当：指導課] P. 373

5501 特色ある新しい学校教育の推進に要する経費 445,280 円

[一財 445,280 円]

○ 目的

地域資産であるアートの取組を生かし、取手市ならではの特色ある新しい学校教育を創出する。

○ 内容

令和3年度より山王小学校は小規模特認校へ移行し、小規模校ならではの少人数教育、また、アーティストと児童との交流事業、国際教育の2つの事業を通して、小学校6年間における「創造する力、表現する力」を育む新たな特色ある学校教育を展開し、市内から幅広く就学児童を受け入れを行う。令和2年度はアーティストと児童とのプレ事業として、地元にはゆかりのある外国籍のアーティストを招き、短期間学校に滞在し、児童とともに創作活動を行う「となりのスタジオ」を実施した。

・アーティストと児童の交流事業委託料 445,280 円

○ 効果

令和3年2月6日に実施した山王小学校オープンデーでは、山王地区以外からも総数79名(30家族、内児童26名)が山王小学校を訪れた。引き続き、小学校6年間を通して「創造する力、表現する力」を育てていく。

1 教育総務費 5 青少年育成費

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 子ども青少年課] P. 373

1001 青少年健全育成に要する経費 9,787,275 円 (10,691,329 円)

[国・県 47,480 円 その他 8,010 円 一財 9,731,785 円]

* 特財内訳

[県補：青少年相談員店舗訪問業務補助金 47,480 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,010 円]

○ 目的

青少年センターに配置した特別青少年相談員と各地区から委嘱した青少年相談員を中心に、青少年自身や保護者からの悩みごとや困りごとなどの相談を受けるとともに、学校や関係機関団体と協力して街頭指導を行い、問題行動の早期発見、早期解消を図

り、青少年が安心して生活できる街づくりに努める。

また、青少年育成団体に助成を行うことにより、青少年の健全育成に関わる市民活動の活性化を図る。

○ 内容

- ・報酬 特別青少年相談員(2人) 2,674,960円
- ・謝礼 青少年相談員謝礼(55人) 6,166,400円(年額112,800円×54人)
(年額112,800円×8/12月×1人)
- ・負担金、補助及び交付金 2団体 128,000円

○ 効果

青少年健全育成の意識の高揚が図られ、青少年の心身の健全なる育成を推進することができた。

2 小学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 377

2001 小学校管理に要する経費 213,567,957円(216,556,718円)

[その他 5,967,745円 一財 207,600,212円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放小学校体育館使用料 1,637,780円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,230,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,950,000円]

[諸収入：取手小太陽光発電による売電料 738円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 75,295円]

[諸収入：工事に伴う市内小中学校光熱水費使用料 73,932円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、児童の学習意欲を向上させ「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

- ・県の少人数指導加配措置を受けていない小学校6校(永山小、取手西小、山王小、六郷小、久賀小、桜が丘小)にTT(ティームティーチング)非常勤講師を配置し、課題別学習や多様な学習、個々に応じた学習を行い、児童の基礎学力の定着を図った。5,110,237円
- ・教育補助員を14校に配置し、障害のある児童の生活支援を行った。66,471,549円

○ 効果

TT非常勤講師の配置により個々に応じた対応ができ、基本的な学力の定着が図られた。また、教育補助員を配置することで、障害のある児童の生活支援ができた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 379

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 17,525,635円

[国・県 13,860,443円 その他 8,745円 一財 3,656,447円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 13,860,443円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,745 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、児童の学習環境の維持を図る。

○ 内容

- ・夏季休業日及び冬季休業日の短縮により増加した登校日に会計年度任用職員(用務員、学校司書、教育補助員、学校活性化 TT)を配置し、教育活動の支援を継続して行った。
- ・校内の消毒清掃を行う用務員を配置した。
- ・教職員が電話連絡による児童の家庭での状況や健康状態の確認を行った。

○ 効果

学校における新型コロナウイルス感染症対策を実施し、児童の学習環境の維持が図られた。

[担当：教育総務課] P.379

2101 小学校施設管理に要する経費 53,385,893 円 (51,403,810 円)

[その他 4,500,000円 一財 48,885,893円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 4,500,000円]

○ 目的

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費

- ・修繕料 各小学校の施設修繕料 15,486,978円
 - ・委託料 各小学校の委託料 35,021,710円
- 設備保守点検(機械警備、浄化槽、消防設備、電気設備、エレベーター保守点検委託等)、施設維持管理(草刈清掃、害虫駆除、樹木剪定委託等)

○ 効果

適切な維持管理により、小学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P.381

2201 小学校保健衛生に要する経費 25,494,961 円 (26,992,941 円)

[国・県 31,650 円 その他 2,036,320 円 一財 23,426,991 円]

* 特財内訳

[国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 31,650 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 200,000 円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金

@460 円×3,992 人=1,836,320 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、児童及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医(25名)、学校歯科医(23名)、学校薬剤師(14名)、産業医(14名)の報酬

・児童、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

小学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	4年	1年	精密検査対象者	4年
R2	4,567人	585人	816人	8人	585人
R1	4,607人	620人	880人	7人	620人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R2	79人	79人	79人	15人	81人	79人	79人
R1	80人	80人	80人	8人	76人	80人	80人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施
- ・学校環境衛生検査の実施(教室等の環境検査・水道管理検査)
- ・学校保健用備品(聴力検査機器)購入

○ 効果

児童及び教職員の健康の保持増進が図られた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 383

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 29,272,447円

[国・県 29,272,447円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 19,253,447円]

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 10,019,000円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら児童の学習保障をするための新たな試みを実施するに当たり、学校教育活動の再開を支援する。

○ 内容

- ・学校活動再開に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童・教職員等が必要となる消毒液等の物品の購入を行った。
- ・児童の学びの保障のため、感染拡大の状況に応じた感染症対策を徹底しながら、学校の教育活動を実施する際に必要となった校外学習のバス代等に要する経費の支援を行った。

○ 効果

教育委員会と学校が連携をしながら新型コロナウイルス感染症対策を実施し、各校の状況に応じた、感染症対策及び児童の学習保障並びに学習環境の維持が図られた。

2 小学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 385

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 668,682円

[国・県 668,682円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 668,682円]

○ 目的

学校の臨時休業中の家庭での学習を支援する。

○ 内容

家庭で学習を行うための課題を作成し、教職員が児童宅を訪問して課題の配布・回収を行った。

○ 効果

課題や学習の進め方を配布することで学校再開に向けた家庭での学習を支援することができた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P.385

2101 小学校教育設備及び教材費に要する経費 26,677,020円 (26,856,083円)

[国・県 597,000円 一財 26,080,020円]

* 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 597,000円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	児童用教材	理科教材	図 書	合 計
R2	12,812,911	2,138,580	10,292,497	25,243,988
R1	12,951,898	2,083,631	10,299,712	25,335,241

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具及び図書、理科備品を整備することで、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P.385

2201 小学校コンピュータ整備に要する経費 375,822,944円 (45,556,681円)

[国・県 338,910,577円 一財 36,912,367円]

* 特財内訳

[国補：学校情報機器整備費補助金 137,115,000円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 201,795,577円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。また、GIGAスクール構想に伴う小学校児童の1人1台のタブレット端末の整備を行う。

○ 内容

- ・家庭学習用モバイルWi-Fi ルーター通信料 7,678円
- ・パソコン使用料 35,974,152円
- ・教育用パソコンソフト使用料 54,821,393円
- ・フィルタリングソフトウェア使用料 8,825,366円
- ・GIGAスクール環境整備事業に伴うタブレット端末の購入 260,423,300円

・GIGA スクール環境整備事業に伴う大型提示装置の購入 14,832,840 円

○ 効果

児童用タブレット端末とデジタル教材、大型提示装置を併せて利用することで、ICTを活用した授業による教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 387

2301 要保護・準要保護児童就学奨励費 40,842,781 円 (44,402,483 円)

[国・県 3,093,000 円 一財 37,749,781 円]

* 特財内訳

[国補：要保護児童就学援助費補助金 43,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 3,050,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な小学校児童の保護者に対し、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護児童就学援助者数(在校生)

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
R2	43 人	518 人	580 人
R1	44 人	517 人	561 人

・入学準備金支給数

区 分	申請者数	支給者数
R2	106 人	80 人
R1	107 人	83 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
R2	292 人	198 人
R1	314 人	207 人

○ 効果

保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 387

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 9,810,010 円

[国・県 8,635,500 円 一財 1,174,510 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 8,635,500 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業に伴い、家庭での昼食費負担の増大が懸念されるため、それに対応した支援を行う。

また、感染症拡大の影響により保護者の収入が減少した世帯に対し、就学援助制度

の収入認定特例措置を講じ、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

臨時休業期間中の家庭での昼食費負担軽減のため、臨時休業1日当たり300円の昼食費補助を実施した。

また、令和2年中の収入状況による認定特例措置により就学援助対象となった世帯に対し、給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・収入認定特例措置

認定者数	うち要保護数	うち準要保護数
19人	0人	19人

・昼食費補助金支給額 8,635,500円

○ 効果

臨時休業期間中の昼食費補助を実施することにより、就学援助世帯の昼食費負担を軽減することができた。また、保護者に対し収入認定特例措置による経済的援助を行うことで、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 387

2901 小学校特別活動助成に要する経費 35,750円 (2,540,024円)

[一財 35,750円]

○ 目的

児童生徒科学研究作品展等を通して児童の活動への意欲を高める。

○ 内容

賞状印刷代 35,750円

○ 効果

児童生徒科学研究作品展や小学校読書感想文において優秀作品を表彰することにより、関心意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

2 小学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課・学務給食課 → 教育総務課・R3学務課] P. 389

2101 小学校施設整備に要する経費 154,588,417円 (508,836,789円)

〈4,950,000円〉 ※ 〈〉は、うち元年度繰越分

[国・県 69,542,000円 〈1,650,000円〉 地方債 70,120,000円 〈3,300,000円〉

その他 1,550,000円 一財 13,376,417円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈1,650,000円〉]

[国補：学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金 67,892,000円]

[市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債

〈(4,950,000円-1,650,000円)×100%=3,300,000円〉]

[市債：小学校校内LAN改修事業債 59,100,000円]

[市債：減収補てん債 7,720,000円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,550,000円]

○ 目的

GIGA スクール構想に伴い、市立小学校に高速大容量の通信ネットワークに要する機器を整備する。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

寺原小学校エレベーターが既存不適格の状態にあるため、戸開走行保護装置等を設置し、現行法令に適合させることで使用上の安全性を確保する。

○ 内容

・ 小学校施設整備消耗品	400,000 円
・ 校内 LAN 構築業務委託料	135,785,885 円
・ 施設管理営繕工事	13,452,532 円
・ 小学校エレベーター改修工事	4,950,000 円

○ 効果

小学校の児童用タブレット端末から高速大容量の通信が可能となり、GIGA スクール構想実現のための環境整備をすることができた。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図った。

寺原小学校エレベーター改修により、既存不適格が解消され、安全なエレベーターの利用が可能となった。

[担当：教育総務課] P. 389

2213 小学校建設事業に要する経費(高井小学校) 3,080,000 円 (0 円)

[地方債 3,000,000 円 その他 80,000 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 3,080,000 円×95%≒2,900,000 円]

[市債：減収補てん債 100,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 80,000 円]

○ 目的

児童数増加による教室不足が懸念される高井小学校の校舎内部改修工事に伴う実施設計を行い、令和3年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

小学校内部改修工事実施設計業務委託料	3,080,000 円
--------------------	-------------

○ 効果

児童数増加による教室不足が懸念される高井小学校の校舎内部改修工事に伴う実施設計を行い、令和3年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進めた。

[担当：教育総務課] P. 389

2216 小学校建設事業に要する経費(藤代小学校) 11,554,200 円 (0 円)

[地方債 11,300,000 円 その他 254,000 円 一財 200 円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債 11,399,000 円×95%≒10,800,000 円]

[市債：減収補てん債 500,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 254,000 円]

○ 目的

老朽化の著しい藤代小学校校舎の大規模改修工事(屋根、外壁、内装等改修及びエレベーター棟設置)の実施設計を行い、令和3年度着工に向けて準備を進める。

○ 内容

構造適合性判定手数料	156,000円
電波障害事前調査委託料	398,200円
校舎大規模改修工事実施設計業務委託料	11,000,000円

○ 効果

藤代小学校校舎の大規模改修工事(屋根、外壁、内装等改修及びエレベーター棟設置)の実施設計を行い、令和3年度に速やかに工事が実施できるよう準備を進めた。

[担当：教育総務課] P.389

2217 小学校建設事業に要する経費(宮和田小学校) 742,507,200円(20,680,000円)
〈740,520,000円〉 ※ 〈 〉 は、うち元年度繰越分
[国・県 212,807,000円 〈212,807,000円〉 地方債 527,600,000円 〈527,600,000円〉
その他 113,000 〈113,000円〉 一財 1,987,200円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈212,807,000円〉]
[市債：合併特例債 〈(36,038,000円-12,092,000円) × 95% ≒ 22,700,000円〉]
[市債：合併特例債 〈(173,499,000円-22,762,000円) × 100% ≒ 150,700,000円〉]
[市債：防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債
〈(530,983,000円-177,953,000円) × 100% ≒ 353,000,000円〉]
[市債：減収補てん債 〈1,200,000円〉]
[繰越金：前年度繰越金 〈113,000円〉]

○ 目的

老朽化の著しい宮和田小学校校舎及び体育館の大規模改修工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)を行い、安全かつ快適な教育環境の充実に努める。

○ 内容

校舎・体育館大規模改修工事監理業務委託料	15,620,000円
校舎・体育館大規模改修工事	724,900,000円
大規模改修工事に伴う設備改修補償費	1,987,200円

○ 効果

老朽化の著しい宮和田小学校校舎及び体育館の大規模改修工事(屋根、外壁、内装及びトイレ改修等)を行い、安全かつ快適な教育環境の充実に努められた。

[担当：教育総務課] P.389

2220 新型コロナウイルス感染症対策経費 9,971,000円
[国・県 9,971,000円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 9,971,000円]

○ 目的

学校衛生環境を整備し新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減させるため、

取手東小学校及び桜が丘小学校体育館トイレ改修の実施設計並びに改修工事を行う。

○ 内容

体育館トイレ改修工事实施設計業務委託料	1,771,000 円
体育館トイレ改修工事	8,200,000 円

○ 効果

取手東小学校及び桜が丘小学校体育館トイレ改修の実施設計を行い、速やかに工事が実施できるよう準備を進めた。また、令和3年度の工事完了に向けて改修工事に着手した。

2 小学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 391

2001 給食運営に要する経費 285,886,302 円 (259,136,539 円)

[その他 144,414,658 円 一財 141,471,644 円]

* 特財内訳

[諸収入：小学校給食代自校分 144,385,507 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 29,151 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費 (単位：円)

項 目	内 容	金 額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(12校)	1,120,460
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(8校)	1,576,300
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(8校)	1,199,000
給食室害虫防除委託料	給食室等の害虫の防除(14校)	682,000
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託(7校) (取手小、白山小、寺原小、永山小、 取手西小、戸頭小、高井小)	100,956,900
空調機保守点検委託料	給食室空調設備保守点検業務委託 (8校)	879,340

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 393

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 3,326,079 円

[国・県 1,745,719 円 その他 1,422,114 円 一財 158,246 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,745,719 円]

[諸収入：学校臨時休業対策費補助金 1,893,168 円×3/4≒1,420,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 2,114 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策のため夏季及び冬季休業日の短縮により、増加した

登校日に給食を提供するとともに、臨時休業に伴う学校等給食休止の影響を受けた給食用物資供給業者等に対し支援事業を行う。

○ 内容

- ・夏季及び冬季休業日の短縮により、増加した登校日に会計年度任用職員(学校栄養士、調理補助員)を配置し、給食の提供を行った。
- ・臨時休業により、学校給食で使用予定であった食材のうち、発注をキャンセルできなかった食材の購入に係る経費を負担した。
- ・臨時休業に伴う学校等給食休止の影響を受けた給食用物資納入業者に対し、取手市立学校等臨時休業対策費給食事業補助金交付要綱に基づき、補助金の交付を行った。

○ 効果

児童の教育活動の維持が図られたとともに、給食用物資納入業者の負担を軽減することができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 395

2101 給食施設整備に要する経費 8,535,461円(7,372,759円)

[その他 3,270,000円 一財 5,265,461円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,230,000円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,940,000円]

[諸収入：学校給食用冷凍庫保管設備助成金 100,000円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

修繕料(施設や厨房機器等の修繕) 6,406,741円

備品購入費(寺原小学校業務用冷凍庫、高井小学校ガスフライヤー等) 2,128,720円

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 395

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 440,000円

[国・県 440,000円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 440,000円]

○ 目的

給食室内の水栓をレバー式ハンドル水栓に交換することにより、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。

○ 内容

修繕料(レバー式ハンドル水栓交換修繕) 440,000円

○ 効果

給食室内の感染症対策の徹底を図ることができた。

3 中学校費 1 学校管理費

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 397

2001 中学校管理に要する経費 63,657,874 円 (67,208,274 円)

[その他 3,382,689 円 一財 60,275,185 円]

* 特財内訳

[使用料：学校開放中学校体育館使用料 670,650 円]

[使用料：学校開放中学校武道場使用料 163,380 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 2,520,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 28,659 円]

○ 目的

教育環境の充実を図ることで、生徒の学習意欲を向上させ「確かな学力」へと繋げる。

○ 内容

教育補助員を1校(藤代南中)に配置し、障害のある生徒の生活支援を行った。

730,054 円

○ 効果

教育補助員を配置することで、障害のある生徒の生活支援ができた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 399

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 1,143,910 円

[国・県 938,372 円 その他 2,135 円 一財 203,403 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 938,372 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 2,135 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、生徒の学習環境の維持を図る。

○ 内容

・夏季休業日及び冬季休業日の短縮により増加した登校日に会計年度任用職員(用務員、学校司書、教育補助員)を配置し、教育活動の支援を継続して行った。

・教職員が電話連絡による生徒の家庭での状況や健康状態の確認を行った。

○ 効果

学校における新型コロナウイルス感染症対策を実施し、生徒の学習環境の維持が図られた。

[担当：教育総務課] P. 399

2101 中学校施設管理に要する経費 25,645,063 円 (20,976,164 円)

[その他 3,570,000 円 一財 22,075,063 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,570,000 円]

○ 目的

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つ。

○ 内容

主な経費

- ・修繕料 各中学校の施設修繕料 12,356,795円
- ・委託料 各中学校の委託料 12,031,490円
設備保守点検(機械警備、浄化槽、消防設備、電気設備、エレベーター保守点検委託等)、施設維持管理(草刈清掃、害虫駆除、樹木剪定委託等)

○ 効果

適切な維持管理により、中学校施設を良好な状態に保つことができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 401

2201 中学校保健衛生に要する経費 13,274,283 円 (13,689,090 円)

[国・県 17,640 円 その他 890,100 円 一財 12,366,543 円]

* 特財内訳

[国補：要保護・準要保護児童生徒共済掛金保護者支出分充当補助金 17,640 円]

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @460 円×1,935 人=890,100 円]

○ 目的

学校保健安全法の規定に基づく健康診断の実施と学校環境衛生検査の実施等を中心とした活動を通して、生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・学校医(12名)、学校歯科医(10名)、学校薬剤師(6名)、産業医(6名)の報酬
- ・生徒、教職員健康診断委託 委託先:(公社)取手市医師会

中学生

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	結核精密検査	小児生活習慣病
対象	全学年	2年	1年	精密検査対象者	2年
R2	2,313人	505人	884人	3人	505人
R1	2,337人	513人	919人	4人	513人

※腎臓検診の人数は二次検査者を含む。

※心臓検診の人数は心音図検査者と12誘導心電図検査者の合計。

職員

区分	腎臓検診	貧血検査	心臓検診	胃検診	胸部検診	生化学検査	血圧・身体・ 腹囲測定
R2	51人	51人	51人	6人	52人	51人	51人
R1	49人	49人	49人	10人	48人	49人	49人

- ・教職員の「心の健康チェック」(ストレスチェック)の実施
- ・学校環境衛生検査の実施(教室等の環境検査・水道管理検査)

○ 効果

生徒及び教職員の健康の保持増進が図られた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 401

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 13,054,145 円

[国・県 13,054,145 円]

＊ 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 8,174,145 円]

[国補：学校保健特別対策事業費補助金 4,880,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら生徒の学習保障をするための新たな試みを実施するに当たり、学校教育活動の再開を支援する。

○ 内容

- ・学校活動再開に際して、密閉・密集・密接を回避し、生徒・教職員等が必要となる消毒液等の物品の購入を行った。
- ・生徒の学びの保障のため、感染拡大の状況に応じた感染症対策を徹底しながら、学校の教育活動を実施する際に必要となった校外学習のバス代等に要する経費の支援を行った。

○ 効果

教育委員会と学校が連携をしながら新型コロナウイルス感染症対策を実施し、各校の状況に応じた、感染症対策及び生徒の学習保障並びに学習環境の維持が図られた。

3 中学校費 2 教育振興費

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 403

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 296,880 円

[国・県 296,880 円]

＊ 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 296,880 円]

○ 目的

学校の臨時休業中の家庭での学習を支援する。

○ 内容

家庭で学習を行うための課題を作成し、教職員が生徒宅を訪問して課題の配布・回収を行った。

○ 効果

課題や学習の進め方を配布することで学校再開に向けた家庭での学習を支援することができた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 403

2101 中学校教育設備及び教材費に要する経費 17,257,682 円 (16,438,408 円)

[国・県 555,000 円 その他 440,000 円 一財 16,262,682 円]

＊ 特財内訳

[国補：理科教育設備整備費等補助金 555,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 440,000 円]

○ 目的

教育設備及び教材を整備し、学習環境の充実を図る。

○ 内容

(単位：円)

区分	生徒用教材	理科教材	図 書	合 計
R2	6,933,611	1,394,216	6,912,851	15,240,678

R1	6,164,667	1,499,985	6,706,070	14,370,722
----	-----------	-----------	-----------	------------

○ 効果

各教科の指導を進めるうえで不可欠な教材教具、図書及び理科備品を整備することにより、良好な教育環境を保つことができた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 403

2201 中学校コンピュータ整備に要する経費 182,904,917 円 (14,823,218 円)

[国・県 168,166,139 円 一財 14,738,778 円]

* 特財内訳

[国補：学校情報機器整備費補助金 68,715,000 円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 99,451,139 円]

○ 目的

高度情報化社会に対応した学習活動を行うために、教育情報ネットワークを利用した教育環境の充実を図る。また、GIGA スクール構想に伴う中学校生徒の 1 人 1 台のタブレット端末の整備を行う。

○ 内容

- ・パソコン使用料 14,319,504 円
- ・教育用パソコンソフト使用料 27,174,345 円
- ・フィルタリングソフトウェア使用料 4,374,634 円
- ・GIGA スクール環境整備事業に伴うタブレット端末の購入 130,178,200 円
- ・GIGA スクール環境整備事業に伴う大型提示装置の購入 6,438,960 円

○ 効果

生徒用タブレット端末とデジタル教材、大型提示装置を併せて利用することで、ICT を活用した授業による教育の充実が図られた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 403

2301 要保護・準要保護生徒就学奨励費 29,280,339 円 (40,095,681 円)

[国・県 1,280,000 円 一財 28,000,339 円]

* 特財内訳

[国補：要保護生徒就学援助費補助金 32,000 円]

[国補：特別支援教育就学奨励費補助金 1,248,000 円]

○ 目的

学校教育法に基づき、経済的理由により就学困難な中学校生徒の保護者に対して、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・要保護、準要保護生徒就学援助者数(在校生)

区 分	要保護数	準要保護数	合 計
R2	21 人	288 人	314 人
R1	19 人	307 人	326 人

・入学準備金支給数

区 分	申請者数	支給者数
R2	95 人	95 人
R1	78 人	78 人

・特別支援教育就学奨励者数

区 分	在籍者数	該当者数
R2	87 人	56 人
R1	89 人	58 人

○ 効果

対象の保護者に対し経済的援助を行うことにより、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 405

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 5,611,249 円

[国・県 4,880,700 円 一財 730,549 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4,880,700 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業に伴い、家庭での昼食費負担の増大が懸念されるため、それに対応した支援を行う。

また、感染症拡大の影響により保護者の収入が減少した世帯に対し、就学援助制度の収入認定特例措置を講じ、教育費の援助を行うことで、教育環境の向上に寄与する。

○ 内容

臨時休業期間中の家庭での昼食費負担軽減のため、臨時休業 1 日当たり 300 円の昼食費補助を実施した。

また、令和 2 年中の収入状況による認定特例措置により就学援助対象となった世帯に対し、給食費、学用品費、入学準備金・新入学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費を援助した。

・収入認定特例措置

認定者数	うち要保護数	うち準要保護数
5 人	0 人	5 人

・昼食費補助金支給額 4,880,700 円

○ 効果

臨時休業期間中の昼食費補助を実施することにより、就学援助世帯の昼食費負担を軽減することができた。また、保護者に対し収入認定特例措置による経済的援助を行うことで、教育環境の向上に寄与することができた。

[担当：指導課] P. 405

2901 中学校特別活動助成に要する経費 6,079,422 円 (19,449,079 円)

[一財 6,079,422 円]

○ 目的

音楽発表・体育大会(県南大会・県大会)等を通して生徒の活動意欲を高める。

○ 内容

・音楽コンクール参加負担金	190,000 円
・中学校体育連盟補助金(総体代替大会等運営経費)	494,000 円
・市内体育大会補助金(新人体育大会バス代半額補助)	1,416,000 円
・大会派遣用自動車借上料・楽器運搬費	3,931,043 円
・消耗品・賞状印刷代	20,350 円

○ 効果

音楽コンクール、体育大会等への参加により、生徒の音楽やスポーツへの関心・意欲が高まり、活動意欲の向上が図られた。

3 中学校費 3 学校建設費

[担当：教育総務課・学務給食課 → 教育総務課・R3 学務課] P. 405

2001 中学校施設整備に要する経費 382,454,495 円 (24,421,040 円)

〈305,162,000 円〉 ※ 〈 〉 は、うち元年度繰越分

[国・県 105,072,000 円 〈72,570,000 円〉 地方債 265,000,000 円 〈232,500,000 円〉

その他 4,002,000 円 〈92,000 円〉 一財 8,380,495 円]

* 特財内訳

[国補：学校施設環境改善交付金 〈72,570,000 円〉]

[国補：学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金 32,502,000 円]

[市債：合併特例債 〈(305,162,000 円-72,570,000 円)×100%≒232,500,000 円〉]

[市債：中学校校内 LAN 改修事業債 29,200,000 円]

[市債：減収補てん債 3,300,000 円]

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 3,910,000 円]

[繰越金：前年度繰越金 〈92,000 円〉]

○ 目的

GIGA スクール構想に伴い、市立中学校に高速大容量の通信ネットワークに要する機器を整備する。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図る。

永山中学校消火栓ポンプが経年劣化により動作に異常をきたしているため、改修工事を行う。

生徒等の熱中症対策及び快適な学習環境の充実を図るため、各中学校特別教室空調設備設置工事を行う。

○ 内容

・中学校施設整備消耗品	239,600 円
・校内 LAN 構築業務委託料	65,005,695 円
・施設管理営繕工事	7,999,200 円
・中学校消防設備改修工事	4,048,000 円
・中学校特別教室空調設備設置工事	305,162,000 円

○ 効果

中学校の生徒用タブレット端末から高速大容量の通信が可能となり、GIGAスクール構想実現のための環境整備をすることができた。

各学校施設の営繕工事を実施し、安全かつ快適な教育環境の充実を図った。

永山中学校の消火栓ポンプの改修工事を行い、生徒の安全確保を図った。

各中学校特別教室空調設備設置工事を行うことで、生徒等の熱中症対策及び学習意欲の向上を図った。

3 中学校費 4 学校給食費

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 407

2001 給食運営に要する経費 160,076,358 円 (147,948,200 円)

[その他 74,312,400 円 一財 85,763,958 円]

* 特財内訳

[諸収入：中学校給食代自校分 74,302,725 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 9,675 円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主な経費

(単位：円)

項目	内容	金額
小荷物専用昇降機保守点検委託料	小荷物専用昇降機保守点検(6校)	636,900
換気設備清掃委託料	給食室用換気設備の清掃(4校)	942,700
給食室害虫防除委託料	給食室等の害虫の防除(6校)	605,000
給食排水槽清掃委託料	給食室用排水槽の清掃(4校)	737,000
学校給食調理業務委託料	給食調理業務の民間委託(4校) (取手一中、取手二中、永山中、戸頭中)	61,431,700
空調機保守点検委託料	空調設備保守点検業務委託(4校)	388,960

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 409

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 1,546,191 円

[国・県 823,061 円 その他 672,876 円 一財 50,254 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 823,061 円]

[諸収入：学校臨時休業対策費補助金 895,569 円×3/4≒672,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 876 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策のため夏季及び冬季休業日の短縮により、増加した登校日に給食を提供するとともに、臨時休業に伴う学校等給食休止の影響を受けた給食用物資供給業者等に対し支援事業を行う。

○ 内容

- ・夏季及び冬季休業日の短縮により、増加した登校日に会計年度任用職員(学校栄養士)を配置し、給食の提供を行った。
- ・臨時休業により、学校給食で使用予定であった食材のうち、発注をキャンセルで

きなかつた食材の購入に係る経費を負担した。

- ・臨時休業に伴う学校等給食休止の影響を受けた給食用物資納入業者に対し、取手市立学校等臨時休業対策費給食事業補助金交付要綱に基づき、補助金の交付を行った。

○ 効果

生徒の教育活動の維持が図られたとともに、給食用物資納入業者の負担を軽減することができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 409

2101 給食施設整備に要する経費 5,002,283 円 (4,152,392 円)

[その他 3,020,000 円 一財 1,982,283 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 1,690,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,330,000 円]

○ 目的

給食施設、設備の整備や修繕を行うことで、給食室内の衛生管理の充実を図る。

○ 内容

修繕料(施設や厨房機器等の修繕) 3,609,903 円

備品購入費(永山中学校業務用冷蔵庫等) 1,392,380 円

○ 効果

給食室内の衛生管理の充実を図ることができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 409

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 246,400 円

[国・県 246,400 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 246,400 円]

○ 目的

給食室内の水栓をレバー式ハンドル水栓に交換することにより、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る。

○ 内容

修繕料(レバー式ハンドル水栓交換修繕) 246,400 円

○ 効果

給食室内の感染症対策の徹底を図ることができた。

4 幼稚園費 1 幼稚園管理費

[担当：学務給食課 → R3 学務課] P. 411

2001 幼稚園管理に要する経費 10,459,886 円 (13,059,141 円)

[その他 657,793 円 一財 9,802,093 円]

* 特財内訳

[使用料：市立幼稚園預かり保育料 40,200 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 605,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 12,593 円]

○ 目的

市立幼稚園を運営することにより、幼児教育の振興を図る。

市立幼稚園にハントウ棒を新設することで、園児の体力向上を図り、健全育成に資する。

○ 内容

市立幼稚園の入園、施設管理等の運営全般に要する経費である。

年 度	4 歳児	5 歳児	合 計
R2	10 人	17 人	27 人
R1	16 人	12 人	28 人

備品購入費（ハントウ棒購入） 605,000 円

○ 効果

市立幼稚園の適切な管理と運営により、幼児教育の振興が図られた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 413

2101 幼稚園保健衛生に要する経費 644,598 円 (650,418 円)

[その他 3,645 円 一財 640,953 円]

* 特財内訳

[負担金：日本スポーツ振興センター災害給付負担金 @135 円×27 人=3,645 円]

○ 目的

学校保健安全法に基づく健康診断を実施し、園児の健康の保持増進を図る。

○ 内容

- ・園医(1名)、園歯科医(1名)、園薬剤師(1名)の報酬
- ・園児健康診断委託 委託先：(公社)取手市医師会

区分	腎臓検診
R2	24 人
R1	28 人

○ 効果

園児の健康の保持増進が図られた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 415

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 959,550 円

[国・県 938,000 円 一財 21,550 円]

* 特財内訳

[国補：教育支援体制整備事業費補助金 938,000 円]

○ 目的

幼児教育の質の向上のため環境の緊急整備を行うことにより、質の高い環境で、子供を安心して育てることができる体制を整備する。

○ 内容

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、密閉・密集・密接を回避するために必要となる物品等の購入を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のために必要となる消毒液や石鹸等の保健衛生用

品を購入し、安全・安心な幼児教育の環境整備を図った。

○ 効果

市立幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策を行い、園児の教育環境の維持が図られた。

5 社会教育費 1 社会教育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 生涯学習課] P. 417

2001 成人式に要する経費 1,855,000 円 (1,813,000 円)

[一財 1,855,000 円]

○ 目的

成人に達した若者の新たな門出を祝福し、今後の活躍を願い、成人式典を開催する。

○ 内容

令和2年度新成人の中から市内各公立中学校の推薦を受け、実行委員会を組織し、成人式の企画・運営を委託事業として実施した。

年 度	性別	対象者(人)	参加者(人)	出席率(%)
R2 (R3. 1. 10 実施)	男	474	290	61. 18
	女	459	267	58. 17
	計	933	557	59. 70
R1 (R2. 1. 12 実施)	男	559	384	68. 69
	女	475	325	68. 42
	計	1,034	709	68. 57

○ 効果

成人式実行委員会に成人式式典などの企画・運営を委託することで、熱心に意見交換を行い、工夫を凝らした式典が実施できた。さらに記念冊子の編集作業を担当してもらうことで、思い出に残る冊子の作成ができた。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 生涯学習課] P. 419

2201 生涯学習推進に要する経費 1,618,417 円 (3,403,559 円)

[一財 1,618,417 円]

○ 目的

生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、各分野にわたる学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的とする。

○ 内容

(1) 出前講座

市民が「知りたい・聞きたい・学びたい」という内容を取りで学遊プラザリーダーバンク及び市職員が講師となって地域へ出向き講座を実施した。

派 遣 分 野	R2 年度		R1 年度	
	件数	受講者決定数	件数	受講者決定数
リーダーバンク編・講座数	6	138 人	12	306 人
行政編・講座数	25	645 人	67	2,142 人
合 計	31	783 人	79	2,448 人

(2) 市民大学

・市民大学講座

市民が誰でも参加できる教養・専門講座「市民大学」を開講し、各分野の専門的な知識を持った講師を迎えて、中長期的な講座を開講した。

講座名／講師名	開催日	受講 決定者数
世界遺産への旅 元東急観光グアム駐在所長 京免 宣昭 氏 (R1 年度に延期となっていた 2 回分を実施。)	12 月 4 日 (金) 12 月 11 日 (金)	52 人

・市民大学特別講座

講座名／講師名	開催日	受講 決定者数
地球環境問題を正しく理解して行動する 筑波大学名誉教授 氷鮑 揚四郎氏	12 月 16 日 (水)	124 人
災害多発時代！ コミュニティ防災を進めよう NPO 法人環境防災総合研究機構環境・防災研究所副所長 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター客員教授 松尾 一郎氏	12 月 19 日 (土)	149 人
プログラミング体験講座 プラチナマイスター(プラチナ未来スクール)、大学生スタ ッフ、パソボラ取手	3 月 23 日 (火) ～3 月 30 日 (火)	36 人
プログラミング講座 プラチナマスター(プラチナ未来スクール)、大学生スタ ッフ、パソボラ取手	6 月 16 日 (火) ～3 月 29 日 (火)	4 人

(3) 家庭教育学級

市立幼稚園・小中学校の親を対象に、家庭での教育力の向上及び親同士のコミュニケーションを図る場として、幼稚園・小中学校に家庭教育学級を設置し、社会教育指導員の指導により全体研修会を実施した。

22 学級 参加者数 82 人

○ 効果

出前講座では、行政に対する理解と市民の生涯学習意欲の向上に加え、市内の各種能力・知識等を持った人材の活用を推進できた。

市民大学講座では、各種講座の専門講師陣により市民に興味のあることについて専門的な知識を与えることができた。

家庭教育学級では、アンガーマネジメントをテーマにした全体研修会を開催し、家庭での教育力の向上が図れた。R2 年度は、コロナ禍のため、多くの講座が中止となる中、感染症対策を行い、実施できるものは、実施体制を整え実施した。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 生涯学習課] P. 419

2202 新型コロナウイルス感染症対策経費 989,459 円

[国・県 983,400 円 一財 6,059 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 983,400 円]

○目的

新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、生涯学習にかかる講座等の受講者の体温測定を行い、市民の講座の利用環境を整える。

○内容

(1)備品購入費：983,400 円

市民大学講座用 AI サーマルカメラ機器購入

(2)役務費：6,059 円

地域づくり型生涯学習推進事業開催中止通知郵送

○効果

市民大学などの講座実施時に会場に AI サーマルカメラ機器を設置し、イベントに参加された方の体温測定を行うことで、会場受付での滞留や密接な状況を防ぎ、市民の講座の利用環境を整えることができた。

[担当：文化芸術課] P.419

2801 市民芸術活動の推進に要する経費 1,813,083 円 (4,279,797 円)

[その他 712,000 円 一財 1,101,083 円]

* 特財内訳

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 712,000 円]

○目的

市民の文化活動及び芸術活動を支援するとともに、文化事業を推進し、市民文化の向上と発展に寄与する。

○内容

(1)市主催事業の開催

事業名	開催日	内容	来場者数
第45回 取手美術 作家展	1/9～1/20 (12日間)	身近な郷土作家による作品展を取手美術作家展に委託して開催した。37人の作家が47点を出品。 会場：とりでアートギャラリー 委託料：712,000円	849人
第51回 取手市民 美術展	10/30～12/7 (うち33日間)	小中学生の部 906点 日本画、洋画、彫刻の部 80点 写真、書、工芸、デザインの部 94点 会場：とりでアートギャラリー 報償費・需用費・役務費：481,083円	5,192人
取手市文化祭 (取手地区)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
取手市藤代 文化祭 (藤代地区)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

とりでスクール・アートフェスティバル	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
--------------------	-----------------------

(2) 市内の文化団体への補助金交付

団体名	補助金額	目的
取手市文化連盟	288,000 円	団体の運営補助
取手市藤代文化協会	210,000 円	団体の運営補助
取手少年少女合唱団	80,000 円	団体の運営補助
国際音楽の日コンサート	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動休止	
よいなかまの会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動休止	

○ 効果

各文化団体へ補助金を交付することにより、市民が行う文化活動の活性化に寄与した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業もあるが、感染症拡大防止策を講じ実施した事業については、内容を工夫し来場者の満足度向上につながった。

[担当：文化芸術課] P. 421

2901 市民会館・福祉会館管理運営に要する経費 91,701,972 円 (89,101,168 円)

[一財 91,701,972 円]

○ 目的

取手市の産業・経済・文化・教養の向上と市民の福祉増進及び住民生活の向上を図る。

○ 内容

(1) 需用費(修繕料):1,419,000 円

修繕名	内容	工期	金額
福祉会館 汚水配管修繕	配管交換、接続修理	3/5~3/22	1,419,000 円

(2) 委託料

平成 18 年度から市民会館・福祉会館の管理運営に指定管理者制度を導入している。

指定管理者:公益財団法人取手市文化事業団

指定管理委託料:90,237,678 円(内訳:当初 89,867,000 円、補填 370,678 円)

年度	施設名	使用件数	入場者数	稼働率 (使用日数/使用可能日数)
R2	市民会館	113 件	13,526 人	49%
	福祉会館	4,851 件	74,643 人	100%
R1	市民会館	190 件	59,476 人	58%
	福祉会館	6,262 件	137,070 人	100%

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 2 年 4 月 1 日~5 月 31 日、令和 3 年 1 月 18 日~2 月 8 日まで休館。

○ 効果

施設の維持管理を適切に行うことによって、文化活動の拠点を市民に提供し文化芸術の振興に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 421

2902 新型コロナウイルス感染症対策経費 1,937,442 円

[国・県 1,937,442 円]

＊ 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,937,442 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、利用制限があった期間の減収を補償するため、施設管理者へ支援金を交付する。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設を改修し利用者の安全を確保する。

○ 内容

(1)休業支援金：1,577,442 円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時に休館した期間(令和2年3月から5月)における減収分の1/2を支援金として交付。

(2)福祉会館事務所窓口拡張工事：360,000 円

事務所受付窓口が狭く利用者が並び密になる現象を解消するため、窓口の拡張を図り感染症防止対策を図る。

○ 効果

施設管理者の運営管理が健全化し安定した。また、感染症拡大防止に努め、利用者の安全安心な施設利用につながった。

[担当：文化芸術課] P.421

3001 東京芸術大学との交流に要する経費 2,474,687 円 (7,001,422 円)

[その他 2,000,000 円 一財 474,687 円]

＊ 特財内訳

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 2,000,000 円]

○ 目的

市内に東京芸術大学のキャンパスがあるという環境を活かし、市民と東京芸術大学との交流を深め、芸術的感性や知識を培い、文化・芸術の推進を図る。

○ 内容

(1)東京芸術大学卒業・修了作品展における取手市長賞

市長賞賞賜金：2,000,000 円(500,000 円×4人)

第69回東京芸術大学卒業・修了作品展における優秀美術作品2点(油画・工芸)及び音楽分野では優秀者2人(ピアノ・オルガン)に市長賞を授与した。美術部門の受賞作品はとりでアートギャラリーに展示した。音楽部門の受賞者は令和3年12月のふれあいコンサートで演奏予定。

種類	作品名	作者/受賞者
油画	後奏	常行 哲弘
工芸(彫金)	Little Pond	熊坂 美友
ピアノ		飯塚 健之助
オルガン		田宮 亮

(2)市内小中学校と東京芸術大学との文化交流

東京芸術大学の学生等が、全市立小中学校で美術又は音楽の指導を行う事業であるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(3)東京芸術大学音楽学部学生によるふれあいコンサート

出演者謝礼:160,000円

開催日	会場	内容	出演者数	入場者数
7/18(土)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
12/12(土)	市民会館(オンライン配信)	声楽・ピアノ	10人	無観客

○ 効果

東京芸術大学との文化交流は、近隣市町村にはない特色ある貴重な事業である。身近で質の高い芸術に触れられるため、市民、児童生徒及び学校関係者に大変好評であり、文化・芸術の振興及び技術の向上を図ることができた。

[担当：教育総務課→ R3 生涯学習課] P.421

3101 郷土資料収集・整理・保存に要する経費 5,877,394円 (6,357,503円)

[その他 44,190円 一財 5,833,204円]

* 特財内訳

[諸収入：雇用保険料本人負担分 8,690円]

[諸収入：市史売却代 35,500円]

○ 目的

令和2年の市制施行50周年に向けて、取手市史・藤代町史編さんの成果に市制施行50年の歩みを加え、「多くの人が手に取って、読んで、内容を理解し、親しめる」取手市史追補版を編さんし、刊行する。

○ 内容

(1) 市制施行50周年記念『取手市史追補版』編さん事業

『取手市史』、『藤代町史』編さん後の調査で判明した史実について、収集した資料の整理を進めるとともに、原稿の執筆を行った。発刊・頒布は、記念式典の開催と合わせ、令和3年度に実施する。

【主な経費】

会計年度任用職員報酬 3,332,015円

- ・市史追補版編さん担当文化財調査員 1名(週5日、6.75時間勤務)
- ・市史追補版編さん担当資料整理補助員 2名(週3日、5.5時間勤務)

(2) 郷土資料収集・整理・保存事業

『取手市史』、『藤代町史』編さん事業から引き継いだ郷土資料や新たに寄贈を受けた資料等を、住民共有の文化的資産として後世に引き継ぎ、活用するため、継続的に郷土資料の整理や保存を進める。

【主な経費】

会計年度任用職員報酬 1,418,638円

- ・古文書・民具等郷土資料整理補助員 1名(週3日、5.5時間勤務)
- ・歴史的文書整理補助員 1名(週3日、5.5時間勤務)

○ 効果

郷土資料の収集・整理・保存を進めながら、『取手市史追補版』発刊に向け原稿の執筆が進んだ。

[担当：文化芸術課] P. 423

3301 アートのあるまちづくり推進に要する経費 27,093,246 円 (31,918,678 円)

[国・県 6,171,000 円 その他 16,866,120 円 一財 4,056,126 円]

* 特財内訳

[国補：文化芸術振興費補助金 6,171,000 円]

[諸収入：取手アートプロジェクト貸付金元利収入 1,350,000 円]

[諸収入：井野アーティストヴィレッジ利用料 5,019,120 円]

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 5,497,000 円]

[諸収入：地域の芸術環境づくり助成金 5,000,000 円]

○ 目的

東京芸術大学のキャンパスが市内にあるという環境を活かして、東京芸術大学の知識、技術、手法などを活用し、他市町村にはない文化・芸術によるまちづくりの推進を図る。

(1) 取手音楽の日「取手ジャズフェスティバル」

○ 内容

委託料：4,000,000 円(公益財団法人取手市文化事業団)

開催日：プレ公演 2 月 28 日(日)、本公演 3 月 17 日(水)、18 日(木)

市民会館大ホールにて東京芸術大学、アマチュアバンド、プロバンドの演奏を行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、ライブ配信を行い新たなジャズファンを獲得した。

○ 効果

取手市内だけでなく市外からもたくさんの方が来場及びオンライン視聴で、優れた演奏を鑑賞した。(3 日間で入場者数 704 人、オンライン視聴 292 人)

(2) 取手の芸術活動連携サポート

○ 内容

委託料：770,000 円(NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス)

市で行われる芸術活動をまちの地域資源として捉え、芸術文化団体のアート活動を支援する事業や、市民がアートを身近に感じられるようになる事業を展開した。

①「知ったかアート大学」市民向けにアート初心者講座を開催し、オンラインでも動画を配信。(17 人参加、再生回数 456 回)

②「とりでアートの日」小中学生とその保護者を対象にしたワークショップをオンラインで実施。(5 講座 117 人参加)

③「インストール講座」芸術家自身の作品を効果的に展示するためのスキルアップ講座を実施。(15 名参加)

○ 効果

アート講座から、気軽に参加できるワークショップまで幅広く事業展開することで、市民一人一人に芸術への意識の差があっても様々なニーズに応えることができた。

(3) 井野アーティストヴィレッジ

○ 内容

賃借料：5,855,640 円

東京芸術大学と市が連携し、空き店舗となっていた井野団地ショッピングセンター

にある一棟をUR都市再生機構より借り受け、東京芸術大学卒業生や若手芸術家のための「共同アトリエ」として一定期間賃貸提供。

- ・UR都市再生機構から市が建物を借り、それを東京芸術大学が中心となって募集した若手芸術家にアトリエとして提供。
- ・7戸のうち1戸は東京芸術大学が管理のため利用し、市が家賃を負担
- ・1戸につき2人以上、利用期間2年
- ・地域との交流及びオープンスタジオへの参加を条件としているが、令和2年度は、オープンスタジオが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、代わりに活動の様子をアート創作活動拠点オンライン公開事業「ART LIVES TORIDE」にて映像配信した。
- ・賃借人数

スタジオ名	101(管理運営)	102	103	104	105	106	107
賃借人数	2人	4人	3人	4人	4人	4人	5人

○ 効果

24人のアーティストが各アトリエにおいて創作活動を行った。空き店舗を利用し地域の活性化を図り、芸術によるまちづくりの推進に寄与することができた。

(4) 取手アートプロジェクト

○ 内容

補助金:3,240,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

取手アートプロジェクト(TAP)は、平成11年度より市民・東京芸術大学・取手市の3者が連携協力して、地域の特色を活かした芸術活動を行っているプロジェクトである。

令和2年度事業	活動テーマ「小さく会を重ねる」
開催期間	通年
主な事業内容	<p>①芸大食堂/コアプログラム《半農半芸》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0 to 1自然から「つくる・生み出す」大空凧プロジェクト 凧作成のための和紙の試作や染料材の調達などを芸大ファクトリーラボと連携し実施した。 <p>②芸大食堂ショーケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショーケース&イン・ザ・スクリーン 食品サンプルケースを利用した「ショーケース」での展示と、食堂ホール内のモニターによる若手作家の活動紹介を実施した。 <p>③高須ハウス/コアプログラム《半農半芸》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひだまりのひマルシェ・パレード 毎年、丁寧なものづくり・ことづくりを行う作家・飲食店・表現者が集まってマルシェを開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言を受け、集客は行わず、活動を紹介する動画の収録を行い動画サイトで公開した。 ・アーティストインレジデンス 若手アーティストを受け入れ制作環境の提供を行った。 <p>④いこいの+TAPPINO/コアプログラム《アートのある団地》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文通ステーション 市内の小中学生と芸術家との手紙でのやり取りを通して物語の創作を行った。

・地域の芸術環境づくり助成金

補助金:5,000,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

公益財団法人自治総合センター「令和2年度コミュニティ助成事業(地域の芸術環境づくり助成事業)」の助成を受けた事業。「多様な好奇心と芸術体験を耕す芸大アート・フィールド&郊外型アート・センター実践プロジェクト」を実施。

・文化芸術振興費補助金

補助金:6,171,000円(取手アートプロジェクト実行委員会)

文化庁「令和2年度文化芸術振興費補助金(文化芸術創造拠点形成事業)」の助成を受けた事業。「創造郊外都市～共創型アート・センター実験室2020」を実施。

○ 効果

コロナ禍の影響で生活様式が大きく変化した中で、これまで見逃してきたもの、さらに深めたい事柄に、今までと異なる時間のリズムを活かして出会い直すことができ、芸術家と新たな形で関係を結び直すことができた。この芸術家との関係性に市民を巻き込み芸術によるまちづくりを進めていく下地ができた。

(5)JOBAN アートライン協議会

○ 内容

負担金:40,000円

JR常磐線沿線の4区4市(台東区・荒川区・足立区・葛飾区・松戸市・柏市・我孫子市・取手市)と、東京芸術大学、そしてJR東日本東京支社が「アート」をキーワードとして関わりながら、常磐線沿線のイメージアップや活性化を図る活動を通じて、それぞれの「街」や「人」をつなげていく取り組みをしている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止し、PR冊子の軽微な修正と5,000部の増刷。令和3年度に向けての運営会議のみ行った。

○ 効果

常磐線沿線内外の人々へのJOBANアートライン協議会の認知度の向上と、JR常磐線沿線の多種多様なアート資源のPRにつながった。

[担当：文化芸術課] P.425

3302 新型コロナウイルス感染症対策経費 7,499,820円

[国・県 7,499,820円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 7,499,820円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け活動の機会が減少した芸術家に対し、経済的支援とともにインターネットでの活動の様子を紹介と子どもたちとの交流の場を設け活動の幅を広げる機会を提供し、芸術によるまちづくりの活力の増大を目指す。

○ 内容

(1)アート創作活動拠点オンライン公開事業:3,500,000円

芸術家のスタジオや活動の様子を取材しオンラインで公開した。事業実施の過程で多くの芸術家の専門性を有償で取り入れることにより、芸術家が地域につながりを持ちながらその技術を提供できる芸術家の活動の基盤を形成した。(参加芸術家34組)

(2)放課後子どもクラブ芸術家パートナーシップ事業:3,999,820円

市内 14 か所の放課後子どもクラブへ芸術家を派遣し、芸術活動を介し子どもたちと芸術家の交流の機会を提供した。(参加芸術家 16 人)

○ 効果

アート創作活動拠点オンライン公開事業については、芸術家の活動の拡大に寄与するとともに地域内の芸術家の存在を市民に知ってもらい、市民が芸術家と関わる機会を提供できた。

放課後子どもクラブ芸術家パートナーシップ事業については、芸術家の専門的な技術や芸術家の世界観に子どもたちが触れることによって、価値観の多様化、自己肯定感の高揚のきっかけを与えることができた。また芸術家にとっては、これまでの制作・研究の経験を活かしながら、新しいことに挑戦する機会、子どもたちと芸術活動を介して新たな表現の可能性を見いだす場となった。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 生涯学習課] P. 425

3501 IT 基礎技術講習会に要する経費 3,029,044 円 (2,493,062 円)

[一財 3,029,044 円]

○ 目的

IT 講習会の内容充実と市民の情報収集・発信能力の向上に努める。

○ 内容

急速に進展する情報化社会に対応するため、パソコンボランティアを中心に公民館を利用して成人を対象に IT 講習会を実施した。

○ 効果

パソコンの基本操作やワード、エクセルの入門講座に加えて、デジカメ入門や動画作成等の幅広いニーズに対応した講習会を実施し、多くの受講生の技術向上に寄与した。

[担当：文化芸術課] P. 425

3701 アートギャラリーの管理運営に要する経費 12,377,038 円 (14,692,694 円)

[その他 813,750 円 一財 11,563,288 円]

* 特財内訳

[諸収入：宝くじ収益金市町村交付金 500,000 円]

[使用料：アートギャラリー使用料 233,500 円]

[使用料：市民ギャラリー使用料 80,250 円]

○ 目的

市民ギャラリーを通して、芸術作品等の発表や鑑賞、文化の交流の場として、取手市の文化芸術活動を推進する。

○ 内容

(1) 市主催事業の開催

事業名	開催日	会場	内容	入場者数
がんばろう取手展	6/17～7/1	とりでアートギャラリー	市民の作製した「がんばろう取手」(イラスト)を借用し、ギャラリー内に展示をし、新型コロナウイルス感染症に負けない取手のPRを行った。	無人展示のため測定不能

にこにこ元気なとりでっ子!作品展	8/7～ 8/18	とりでアート ギャラリー	市内公立、私立保育所(園)・幼稚園 17 か所に通う 4 歳児、5 歳児の絵画と立体工作物を合同で展示。併せて 4 か所の地域子育て支援センターの取り組みを紹介した。	1, 136 人
広報とりでパネル展	10/2～ 10/14	とりでアート ギャラリー	「広報とりで」創刊 1, 300 号を迎え、市制施行 50 周年を記念して展示。過去の広報紙からピックアップした号を、当時の写真とともに展示した。	無人展示のため測定不能
とりで美術の歩み展	2/13～ 2/25	とりでアート ギャラリー	取手美術作家展会員を中心に、物故者を含む作家 73 人、77 点の優れた作品を展示した。	1, 318 人
取手市名誉市民木内幸男氏追悼企画展	3/19～ 3/24	とりでアート ギャラリー	令和 2 年 11 月に御逝去された、名誉市民である木内幸男氏の生前の活躍を偲ぶ企画展を開催した。	2, 164 人

※その他、ギャラリーの空いている期間を利用して、東京芸術大学取手市長賞の作品を展示した。

(2)アートギャラリー貸出し実績

期間	展示名
7/17～7/22	第 23 回写遊会取手写真展
8/28～9/2	山田勇魚「from the seabed」
12/11～12/23	東京芸術大学佐藤時啓研究室有志展 New normal Abnormal 変わらないもの
3/12～3/17	第 12 回県南書展
3/19～3/24	取手洋画クラブ展
3/26～3/31	絵を描く仲間たち展

(3)市民ギャラリーの管理

市民の発表の場として、取手駅東西連絡通路及び藤代駅橋上自由通路にある市民ギャラリーの貸出しを行った。

利用件数

ギャラリー名	令和 2 年度	令和元年度
取手駅市民ギャラリー	38 件	54 件
藤代駅市民ギャラリー	24 件	25 件

○ 効果

郷土作家や市民による作品等の発表及び鑑賞並びに文化交流の場を市民に提供し、文化・芸術の振興に寄与した。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 子ども青少年課] P. 425

3801 放課後児童対策事業に要する経費 229, 670, 976 円 (112, 714, 199 円)

[国・県 138, 472, 000 円 地方債 21, 400, 000 円 その他 33, 105, 101 円]

一財 36, 693, 875 円]

* 特財内訳

[国補：子ども・子育て支援交付金 24,130,000 円]

[国補：子ども・子育て支援整備交付金 67,452,000 円]

[県補：子ども・子育て支援交付金 26,567,000 円]

[県補：子ども・子育て支援整備交付金 16,860,000 円]

[県補：放課後児童対策事業補助金 3,463,000 円]

[市債：放課後子どもクラブ室整備事業債

(111,177,000 円－84,312,000 円)×80%≒ 21,400,000 円]

[負担金：放課後児童対策事業保護者負担金 27,160,250 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 5,629,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 315,851 円]

○ 目的

市立小学校に通う全児童を対象とし、学校施設等を利用して、遊びや体験学習などで自主的に過ごせる場所を設け、児童の健全育成を図る。

○ 内容

放課後子ども教室事業と放課後児童クラブ事業を一体的に、平成 20 年度から「放課後子どもクラブ」として全市立小学校で開設している。

放課後や夏休み等の長期休業中に、小学校 1 年生から小学校 6 年生までを対象に、安全で安心な子どもの活動拠点を小学校に設け、遊びや体験活動を通じて児童の健全育成と子育て支援の充実を図る。

宅地開発が進むゆめみ野地区に所在する高井小学校において、児童数が急増したことに伴い放課後子どもクラブ室を学校敷地内に新築した。(軽量鉄骨造 1 階建て 365.85 m²)

・放課後児童支援員等報酬 102,987,416 円

・高井小放課後子どもクラブ室新築工事監理業務委託 2,068,000 円

・高井小放課後子どもクラブ室新築工事 109,109,000 円

放課後子どもクラブ登録児童数(通常利用登録者) 令和 3 年 3 月 31 日現在(単位:人)

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	合 計
取 手 小	37	44	34	35	23	15	188
白 山 小	52	47	31	28	18	8	184
取手東小	50	44	39	52	33	28	246
寺 原 小	32	32	40	21	25	18	168
永 山 小	37	31	31	19	22	11	151
取手西小	23	24	29	30	16	13	135
戸 頭 小	39	44	38	38	15	10	184
高 井 小	64	59	30	19	8	1	181
山 王 小	7	4	11	2	6	2	32
六 郷 小	10	12	10	12	4	8	56
藤 代 小	42	39	40	38	19	5	183
宮和田小	23	40	23	23	19	1	129
久 賀 小	25	29	23	18	16	6	117
桜が丘小	33	29	28	14	9	1	114
合 計	474	478	407	349	233	127	2,068

○ 効果

放課後の児童健全育成のために貢献することができた。また、全学年・全児童を対象としたことで異学年間の交流も図ることができた。高井小放課後子どもクラブ室新築工事により施設の充実が図られた。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 子ども青少年課] P. 429

3802 新型コロナウイルス感染症対策経費 31,086,293 円

[国・県 29,895,461 円 一財 1,190,832 円]

* 特財内訳

[国補：子ども・子育て支援交付金(感染症対応分) 12,372,461 円]

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2,759,000 円]

[県補：子ども・子育て支援交付金(感染症対応分) 3,948,000 円]

[県補：新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金 10,816,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、放課後子どもクラブの運営を行う。

○ 内容

4月7日から6月7日まで新型コロナウイルス感染症対策のため学校の臨時休業に伴い、対象児童を「就労家庭の児童の内、兄弟や親族が不在のためひとりで留守番をすることが困難な1年生から3年生までの児童」に限定し、規模を縮小した放課後子どもクラブを臨時開所した。また、通常及び臨時開所するための新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや消毒液等の衛生用品の購入、空気清浄機等の整備を行った。

- ・放課後児童支援員等報酬 11,745,971 円
- ・消毒液等 4,701,775 円
- ・非接触式電子温度計 514,800 円
- ・加湿空気清浄機 3,861,000 円

放課後子どもクラブ登録児童数(臨時利用登録者) 令和2年6月7日現在(単位:人)

小学校名	1 学年	2 学年	3 学年	合 計
取 手 小	15	14	14	43
白 山 小	16	17	7	40
取手東小	24	12	14	50
寺 原 小	13	11	11	35
永 山 小	18	13	13	44
取手西小	11	8	9	28
戸 頭 小	16	14	20	50
高 井 小	35	30	10	75
山 王 小	3	0	2	5
六 郷 小	5	3	5	13
藤 代 小	19	13	12	44
宮和田小	11	10	10	31
久 賀 小	11	8	13	32
桜が丘小	11	6	11	28
合 計	208	159	151	518

○ 効果

学校の臨時休業に伴う臨時開所を行うことで、保護者の就労支援に貢献することができた。また、感染症対策としての消耗品・備品の購入により、放課後子どもクラブ利用者の新型コロナウイルス感染症対策が図られた。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 生涯学習課] P. 429

4301 訪問型家庭教育支援事業に要する経費 190,373 円 (506,472 円)

[国・県 126,000 円 一財 64,373 円]

* 特財内訳

[県補：地域で支える家庭の教育力向上事業費補助金

190,373 円×2/3≒126,000 円]

○ 目的

訪問型家庭教育支援事業は、地域の子どもは地域社会全体で育てるという考え方に立ち、地域の人材を活用した家庭教育支援チームが家庭に支援を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えてゆくことを目的とする。

○ 内容

- (1) 支援方法 訪問型家庭教育支援チームによる家庭訪問
- (2) 実施対象 市校長会から推薦いただいた小学校 4 校(取手東小、取手西小、戸頭小、宮和田小)の小学 1 年生児童を持つ保護者(207 名)と昨年度事業実施 4 校(取手小、白山小、六郷小、藤代小)の小学 2 年生児童を持つ家庭の保護者(208 名)と市内市立小学校への転入生(71 名)
- (3) 実施内容 対象者へ実施希望調査を実施し、希望者に対して電話等での情報提供を行う。
- (4) 実施結果 対象人数 486 名の内、11 名から実施希望があり、希望者全てと電話等で情報提供を行った。

○ 効果

コロナ禍のため、例年との実施方法は異なったが、家庭に家庭教育の情報を届け、保護者への支援を通じて子どもの育ちを支えてゆくことができた。

5 社会教育費 2 公民館費

[担当：公民館 → R3 生涯学習課] P. 431

0501 公民館事務に要する経費 37,834,566 円 (44,348,737 円)

[その他 6,577,915 円 一財 31,256,651 円]

* 特財内訳

[使用料：公民館使用料 5,755,700 円]

[手数料：コピー手数料 168,270 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 570,000 円]

[諸収入：印刷機使用料 83,765 円]

[諸収入：電話通話料 180 円]

○ 目的

地域に即した特色ある公民館の運営と維持管理を行い、市民の文化教養の向上、利用環境の充実に寄与する。

○ 内容

市内の公民館施設の適切な維持管理を行う。主な経費は公民館の需用費、委託料である。

- ・光熱水費 13,437,808 円(各公民館施設の光熱水費)
- ・委託料 15,905,689 円
(各公民館施設の清掃管理委託、夜間管理委託消防設備保守点検委託、冷暖房機保守点検委託他)

○ 効果

公民館の維持管理を適切に行い、利用環境の充実と利用者の利便性を図った。

[担当：公民館 → R3 生涯学習課] P. 433

0502 新型コロナウイルス感染症対策経費 326,614 円

[国・県 278,014 円 一財 48,600]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 278,014 円]

○ 目的

公民館を利用される方は、高齢者が多く感染時に重症化の確率が非常に高いため、室内の消毒をこまめに行い、館内の衛生環境を整える。

○ 内容

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、公民館の部屋の利用前と利用後の除菌消毒をするためにエタノールを含む消毒液を購入した。

○ 効果

室内の衛生環境を整えられ、感染リスクの低減を図った。

[担当：公民館 → R3 生涯学習課] P. 433

2101 公民館活動に要する経費 513,257 円 (1,511,836 円)

[一財 513,257 円]

○ 目的

市内には、学習活動や地域づくりの中心的役割を担う公民館が 14 館あり、地域に即した生涯学習施設として活用されている。それぞれの地域ニーズに合わせた魅力ある事業を展開し、地域の生涯学習の拠点として、より一層の充実を図る。

○ 内容

市内各地域の公民館において、幅広い年齢層を対象とした講座や講演会等を開催することで地域の人たちが身近に参加でき、学べる機会を提供する。

- ・報償費 209,109 円(各公民館講師謝礼等)

対象	事業名	期 間	回数	受講者数(人)	事業内容及び結果
女性	女 性 学 級	年間	各学級 6~8	1 学級 12 人~35 人 8 学級(166 人)	出会いを大切に視野を広げ、楽しく学習しながら豊かな人間性を培い、学級生相互の交流を深めた。

高齢者	高齢者学級	年間	各学級 4～10	1学級 11人～89人 3学級(127人)	高齢者が心豊かに生きられるように、健康・趣味・体験活動等を通して、社会情勢に必要な物の見方や考え方、生きがいを見い出した。
成人	ふるさと講座	10・3月	2	40	郷土に関する歴史の学習を通し、郷土愛と交流を深めた。
	フラワーハーバリウム作り講座	12月	1	15	瓶の中にミネラルオイルと花を詰めたアレンジメントを作成した。
	健康教室	10～11月	3	69	高齢者の健康づくりと運動をテーマに講座を実施した。
	しめ飾り作り講座	12月(1館)	1	25	伝統的な「しめ飾り」を手作り体験した。
一般	地域交流会	11月	1	24	地域親睦と健康増進を目的に、ハイキング(ウォーキング)を開催し、地域の交流を深めた。
	ペタンク大会	9月	1	38	スポーツ(ペタンク)を通じて、各世代間の交流を図った。
	永山・戸頭地域親善ゲートボール大会	10月	1	30	永山・戸頭地域のゲートボール愛好者の親善と健康増進と技術の向上を目的に大会を開催した。
	公民館作品展	2月	1	80	作品展示や催しもの等、公民館で活動する団体による発表と地域交流の場を提供した。

・各公民館利用状況

公民館名	年度	利用件数(件)	延べ利用者数(人)
中央公民館	R2	福社会館との複合施設のため独自の算出はなし	
	R1		
小文間公民館	R2	795	5,366
	R1	1,212	9,544
永山公民館	R2	1,787	19,163
	R1	2,617	36,061
寺原公民館	R2	1,498	16,188
	R1	2,184	29,404
井野公民館	R2	2,234	29,134
	R1	4,089	68,666
戸頭公民館	R2	2,407	25,495
	R1	4,058	71,404

白 山 公 民 館	R2	1,735	21,453
	R1	2,783	48,161
藤 代 公 民 館	R2	1,591	16,466
	R1	2,747	41,990
山 王 公 民 館	R2	544	4,171
	R1	878	6,815
六 郷 公 民 館	R2	561	5,468
	R1	957	12,856
相 馬 公 民 館	R2	684	5,540
	R1	1,101	11,781
相 馬 南 公 民 館	R2	894	8,280
	R1	1,634	18,130
高 須 公 民 館	R2	244	1,951
	R1	412	4,735
久 賀 公 民 館	R2	511	4,274
	R1	795	8,438
計	R2	15,485	162,949
	R1	25,467	367,985

○ 効果

地域の特色を生かした、学級講座等の事業を開催し、内容の充実を図ったことで、利用者の教養の向上と健康の増進に寄与することができた。

[担当：公民館 → R3 生涯学習課] P. 433

2301 公民館施設整備に要する経費 7,623,159 円 (58,571,360 円)

[その他 5,166,000 円 一財 2,457,159 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 5,166,000 円]

○ 目的

公民館施設の適切な整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の破損箇所や異常箇所の修繕及び工事を実施し、施設整備を行う。

- ・修繕料 7,041,265 円(各公民館施設の修繕)
- ・委託料 286,000 円(白山公民館公共下水道接続工事実施設計業務委託料)
- ・工事請負費 198,000 円(藤代公民館受水槽ブレーカー設置工事)

○ 効果

藤代公民館の受水槽内にブレーカーを設置し、施設の充実と利用環境整備を図った。

また、各公民館の付帯設備等の老朽化に伴う故障や破損等で、使用に支障がある付帯設備等の修繕を行い、利用者の利便性を図った。

[担当：公民館 → R3 生涯学習課] P. 435

2302 新型コロナウイルス感染症対策経費 15,732,200 円

[国・県 15,732,200 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 15,732,200円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症予防対策として、公民館施設の衛生環境の整備及び工事を行い、市民の利用環境を整える。

○ 内容

市内公民館施設の和式トイレを洋式化及び自動水栓化工事を実施し、施設整備を行った。

- ・委託料 407,000円(公民館トイレ改修工事実施設計業務委託料)
- ・工事請負費 15,325,200円(公民館トイレ改修工事)

○ 効果

感染症対策のため、市内公民館施設のトイレの洋式化及び自動水栓化工事を実施し、衛生環境の向上を図った。

5 社会教育費 3 図書館費

[担当：図書館] P.435

2001 図書館管理運営に要する経費 77,027,879円(25,955,366円)

〈45,215,000円〉※〈〉は、うち元年度繰越分

[地方債 53,600,000円〈45,200,000円〉 その他 3,430,000円〈15,000円〉

一財 19,997,879円]

* 特財内訳

[市債：合併特例債〈45,215,000円×95%≒42,900,000円〉]

[市債：合併特例債 8,465,000円×95%≒8,000,000円]

[市債：減収補てん債〈2,300,000円〉]

[市債：減収補てん債 400,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 3,415,000円]

[繰越金：前年度繰越金〈15,000円〉]

○ 目的

利用者に安全で快適な環境を提供するため、適切な施設の維持管理を図る。

○ 内容

修繕等が必要な箇所について、所要の修繕や改修を行った。

事業名	内容	金額(単位:円)
ふじしろ図書館防煙スクリーン修繕	経年劣化により防煙スクリーンが正常に作動しないため、防火上の観点からこの不具合を解消した。	489,500
取手図書館館内不具合照明器具修繕	1階一般開架の不点灯照明・3階学習室のそれぞれ一部で発生している不具合照明器具をLED器具へ更新した。	495,000
ふじしろ図書館加圧給水ポンプユニット交換	加圧給水ポンプユニットの基板が故障し断水する恐れがあったため修繕した。	946,000

ふじしろ図書館空調機温度調節計他修繕	快適な館内環境を維持するため、温度調節計不良や異音が発生しているポンプベアリングを修繕した。	539,000
ふじしろ図書館空調機 ACU-1 整備他修繕	快適な館内環境を維持するため、異音が発生しているベアリングやモーターを交換した。	220,000

○ 効果

利用者に安全で快適な環境を提供するため、修繕等については緊急性や効果を考慮しながら実施し、諸設備の機能回復及び保全に努めることができた。

[担当：図書館] P. 437

2101 図書館活動に要する経費 86,885,770 円 (88,717,087 円)

[その他 619,304 円 一財 86,266,466 円]

* 特財内訳

[手数料：コピー手数料 83,880 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 490,000 円]

[諸収入：雇用保険料本人負担分 45,424 円]

○ 目的

市民の多様化するニーズに対応する読書環境の整備及び図書館事業の充実並びに効果的な図書館資料の提供に努める。

○ 内容

(1) 主な事業

- ・ 学校図書館－市立図書館連携事業(ほんくる)の運用
 本の魅力を発信する図書館Webサービス並びに学校図書館と市立図書館とのシステム連携及び図書配送サービスの運用。
 図書館システム賃借料(4～3月) 37,363,680 円
 図書配送業務委託料 6,966,755 円
- ・ 学校との連携 学校図書館への支援
 学校司書研修会(中止)
 蔵書点検の指導・実施
 図書館システム活用・運用についての指導(随時)
 学校訪問おはなし会(中止)
 放課後子どもクラブ訪問おはなし会(中止)
 家庭教育学級への講師派遣(中止)
 学校へのリサイクル図書配付(929冊)
- ・ うちどく(家読)
 「スマートウェルネスとりでの推進事業」のうち地域・家族の絆づくりの事業として家庭での読書の普及啓発を図った。また、「うちどく絵本リスト」を作成し、市内公立小中学校の児童生徒に配付した。
- ・ 子育て支援
 ブックスタート事業(22回 556冊配付)

乳幼児・児童向け読み聞かせ(中止)
 地域子育て支援センター訪問(中止)
 こども発達センターおはなし会(中止)
 子育て支援センター(4カ所)へ配本セットを巡回
 おすすめ絵本紹介として、「よもつと」を偶数月に発行・配信
 保育所等へのリサイクル図書配付(278冊)

- ・メルマガ配信
- ・中高生向け本の情報紙「ほんバナ」(年3回発行)
- ・図書館まつり 取手図書館(中止) ふじしろ図書館(中止)
- ・特別展示「効き目ほんわか ころのお薬100冊2020」(8/1~9/29)
 自殺予防週間に合わせ、いのちやころについて考えるための図書の展示
 や情報提供を実施した。(総貸出冊数2,431冊)

(2)登録者数

(単位:人)

年齢別 登録者数	0~ 6歳	7~ 12歳	13~ 15歳	16~ 18歳	19~ 22歳	23~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60歳 ~	合計
R2	516	4,907	2,751	2,040	2,372	3,439	4,819	6,671	4,758	13,300	45,573
R1	587	4,981	2,849	1,565	2,254	3,138	4,768	6,499	4,298	12,733	43,672
H30	631	4,674	2,369	1,848	2,518	3,514	5,529	6,944	4,393	13,598	46,018
H29	680	4,777	2,324	1,872	2,424	3,345	5,507	6,748	4,188	12,952	44,817
H28	706	2,524	1,800	1,908	2,180	3,233	5,481	6,578	3,960	12,352	40,722

(3)利用状況

※3月2日~4月23日、空調改修工事のため取手図書館臨時休館
 ※4月24日~5月20日、新型コロナウイルス感染予防対策のため図書館・公民館図書
 室休館・休室、図書館・公民館・ゆうあいプラザ・取手駅前窓口にて予約資料の貸出・
 返却の受付

- ・入館者数

館名	入館者数(単位:人)				
	R2	R1	H30	H29	H28
取手図書館	100,230	140,085	149,093	152,153	159,144
ふじしろ図書館	105,911	156,734	166,972	167,906	179,787
合計	206,141	296,819	316,065	320,059	338,931

- ・館別貸出者数

館名	貸出者数(単位:人)				
	R2	R1	H30	H29	H28
取手図書館	50,310	61,607	65,682	67,132	78,628
ふじしろ図書館	45,585	56,228	61,000	63,687	80,870
戸頭公民館図書室	23,813	30,072	32,510	32,441	38,081
小文間公民館図書室	286	324	208	225	295
寺原公民館図書室	4,634	4,596	4,478	4,022	4,406
永山公民館図書室	960	887	962	867	917
ゆうあいプラザ図書室	2,658	2,549	2,784	2,627	3,310
井野公民館	2,464	2,010	1,670	1,383	1,926
取手駅前窓口	7,441	7,385	6,743	5,466	4,968
山王公民館	137	133	98	104	98

六郷公民館		420	271	333	401	466
相馬南公民館		870	677	729	535	503
学校配送	小学校	2,105	1,510	1,765	1,030	—
	中学校	465	423	468	291	—
合	計	142,148	168,672	179,430	180,211	214,468

・貸出冊数(個人貸出)

館名	貸出冊数(単位:冊)					
	R2	R1	H30	H29	H28	
取手図書館	185,547	219,351	231,682	235,419	239,826	
ふじしろ図書館	166,889	200,337	221,087	224,526	242,875	
戸頭公民館図書室	74,126	90,975	98,324	98,180	103,153	
小文間公民館図書室	575	691	459	479	528	
寺原公民館図書室	10,561	10,533	9,976	8,704	8,727	
永山公民館図書室	2,709	2,198	2,665	2,462	2,149	
ゆうあいプラザ図書室	7,110	6,756	7,403	6,605	7,547	
井野公民館	4,971	4,023	3,405	2,575	3,612	
取手駅前窓口	14,917	14,536	13,282	10,914	8,711	
山王公民館	247	293	159	178	146	
六郷公民館	822	554	595	728	778	
相馬南公民館	1,763	1,070	1,148	837	758	
学校配送	小学校	5,338	6,385	8,828	3,288	—
	中学校	934	695	891	384	—
合	計	476,509	558,397	599,904	595,279	618,810

※学校配送は、平成29年10月から開始

・予約(リクエスト)利用状況

予約(リクエスト)件数	予約件数(単位:件)				
	R2	R1	H30	H29	H28
	126,333	126,737	116,266	103,501	106,453

○ 効果

新型コロナウイルス感染防止のためイベント等中止となった図書館事業があったが、その中で可能な読書環境を整備したり、利用者のニーズに対応したサービスを提供することができた。

[担当: 図書館] P. 439

2102 新型コロナウイルス感染症対策経費 10,410,900円

[国・県 10,268,591円 一財 142,309円]

* 特財内訳

[国補: 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 10,268,591円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策の観点から、共用物品である図書の「接触感染」を抑制するための対策として図書の消毒を行うために、図書消毒機を購入した。また、外出を控える市民に向けて電子図書館を導入し電子書籍を提供した。その他、来館者

のために手指消毒剤等を設置した。

○ 内容

- ・電子図書館システム使用料 5,169,238 円
- ・図書消毒機(5台) 4,466,000 円
- ・手指消毒剤 他 633,353 円

○ 効果

図書消毒機の購入や電子書籍を充実させることにより、新型コロナウイルス感染症対策に貢献した。

[担当：図書館] P. 439

2201 図書館資料購入に要する経費 33,799,048 円 (33,906,066 円)

[その他 59,908 円 一財 33,739,140 円]

* 特財内訳

[諸収入：図書弁償金 43,820 円]

[諸収入：広告掲載料 16,088 円]

○ 目的

市民の幅広い図書館資料に対するニーズに応える。

○ 内容

既定の収集方針に基づき、図書館資料を整備し、市民の読書活動を支援できるよう努めた。

・令和2年度館別購入数

館名	図書		雑誌	
	購入冊数	購入金額(円)	購入種類	購入金額(円)
取手図書館	5,126	11,002,713	70誌	658,300
ふじしろ図書館	5,745	10,698,088	79誌	855,852
戸頭公民館図書室	2,421	4,424,558	26誌	295,059
合計	13,292	26,125,359	138種類	1,809,211
館名	新聞		AV	
	購入種類	購入金額(円)	購入件数	購入金額(円)
取手図書館	12紙	392,652	30点	87,262
ふじしろ図書館	16紙	521,000	140点	733,870
戸頭公民館図書室	10紙	288,474	23点	67,155
合計	17種類	1,202,126	193点	888,287

※新聞の購入種類は、同紙名の夕刊も1紙とし、合計欄は全館での紙名数を記載した。

・館別蔵書数(各年度末日現在)

館名	図書(単位:冊)				
	R2	R1	H30	H29	H28
取手図書館	134,967	142,905	140,608	137,933	135,601
ふじしろ図書館	146,845	146,304	143,612	140,143	137,735
戸頭公民館図書室	54,684	52,761	53,877	57,850	56,546
小文間公民館図書室	2,190	2,391	2,376	2,401	2,365
寺原公民館図書室	4,523	4,511	4,489	4,129	4,518
永山公民館図書室	4,179	4,188	4,460	4,713	4,614

ゆうあいプラザ図書室	10,496	10,488	9,779	9,894	9,854
合 計	357,884	363,548	359,201	357,063	351,233

館 名	雑誌(単位:タイトル数)				
	R2	R1	H30	H29	H28
取手 図 書 館	86	89	90	90	77
ふじしろ 図 書 館	86	92	94	94	90
戸頭公民館図書室	27	27	29	30	30
合 計	199	208	213	214	197

館 名	AV(単位:件)				
	R2	R1	H30	H29	H28
取手 図 書 館	756	691	548	486	325
ふじしろ 図 書 館	5,863	5,682	5,445	5,307	5,108
戸頭公民館図書室	160	143	115	88	78
合 計	6,779	6,516	6,108	5,881	5,511

○ 効果

各館の特徴を活かしながら、利用者のニーズに合わせた蔵書構成を目指し、また、図書館まで足を運ぶことができない子どもや高齢者でも利用しやすい、地域の公民館など読書施設の蔵書更新を図った。

5 社会教育費 4 文化財保護費

[担当：教育総務課→ R3 生涯学習課] P.441

2001 文化財保護に要する経費 520,763 円 (520,573 円)

[その他 620 円 一財 520,143 円]

* 特財内訳

[諸収入：市史・郷土史郵送料本人負担分 620 円]

○ 目的

文化財は市民共有の財産であり、地域の歴史の歩みを後世に永く伝える貴重な資料であるため、文化財保護法や県・市条例等により文化財保護が義務付けられている。市内の国・県・市指定文化財の保護・活用に努め、未指定の文化財についても調査を進める。

○ 内容

(1) 指定文化財補助金交付 436,000 円

指定文化財等補助金交付要綱に基づき、指定文化財の日常管理や修理・整備に対して補助金を交付した。

(単位:円)

指 定	指定文化財の名称	日常管理 補助金	防災設備保守 点検補助金	その他
		定額	補助率 7/8	
国	竜禅寺 三仏堂	10,000	82,000 【3/4:県補助 事業のため】	【 】は補助率

県	本多作左衛門重次墳墓 (本願寺)	10,000		
	大日山古墳(岡神社)	10,000		
	地藏ケヤキ(高源寺)	10,000		
	長禅寺 三世堂	10,000	31,000	
	東漸寺 山門・観音堂	10,000	38,000	
市	八坂神社 本殿・拝殿	10,000	52,000	
	白山神社 本殿	10,000	38,000	
	中妻貝塚(福永寺)	10,000		【1/2】 85,000 [維持管理(草刈り)]
	阿弥陀如来坐像 (金仙寺)	10,000		
	絹本金箔地刺繍釈迦 涅槃図(信楽寺)	10,000		

(千円未満切り捨て)

(2) 文化財保護強調週間に伴う特別公開

11月1日から7日の文化財保護強調週間に合わせ、県・市指定文化財「旧取手宿本陣」において水戸藩第8・9代藩主の直筆の掛軸2点を公開した。

・特別公開

開催日	内容	来場者	備考
11/6~8	水戸藩主直筆掛軸の公開	105人	水戸藩第8代藩主徳川斉脩(なりのぶ)の春蘭の画、同第9代藩主徳川斉昭(なりあき)の書歌を公開

○ 効果

文化財の保存・管理について、管理者の負担軽減を図るため補助金を交付するとともに、維持・修理を計画的に実施することができた。

また、水戸藩主直筆の掛軸を公開することにより、取手市と江戸幕府との密接な関係性や旧取手宿本陣の魅力をあらためて伝えることができた。

[担当：教育総務課 → R3 生涯学習課] P.441

2101 旧取手宿本陣管理運営に要する経費 7,856,894円(24,286,028円)

[その他 722,000円 一財 7,134,894円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 530,000円]

[諸収入：本陣駐車場使用料 192,000円]

○ 目的

県・市指定文化財「旧取手宿本陣」の保存・管理を行い、一般公開することで文化財への愛着や関心を高める。

○ 内容

(1) 一般公開

年度	公開日	日数	来場者	平均	内容	備考
R2	週3日 (金・土・日)	122日	1,676人	13.7人	<ul style="list-style-type: none"> ・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行える体制を整えた。 	【臨時休館】 <ul style="list-style-type: none"> ・理由 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言のため ・期間 R2/4/1～R2/5/28 R3/1/18～R3/2/7
R1	週3日 (金・土・日)	114日	2,316人	20.3人	<ul style="list-style-type: none"> ・修復工事のビデオを随時放送。 ・土間でパネル展を実施した。 ・小学校などの団体見学では、職員が説明を行った。 	【臨時休館】 <ul style="list-style-type: none"> ・理由 保存修理工事のため ・期間 R1/12/16～R2/3/31

(2) 管理・運営経費

・一般公開に関する主な経費

内 訳	支 出 額
公開日受付業務委託料	1,490,548円

・維持管理に関する主な経費

内 訳	支 出 額
史跡指定地・駐車場賃借料	3,384,502円
庭園維持管理委託料	968,000円
裏山木道修繕	550,000円

○ 効果

旧取手宿本陣の一般公開を行うことで、市民の歴史や文化財に対する関心を高めているとともに、見学者の約6割を占める市外からの訪問者が取手市の魅力を再発見することに寄与することができた。

[担当：教育総務課 → R3 生涯学習課] P.443

2301 埋蔵文化財センター管理運営に要する経費 52,504,221円 (6,494,416円)

[地方債 47,600,000円 その他 99,922円 一財 4,804,299円]

* 特財内訳

[市債：埋蔵文化財センター整備事業債 47,685,000円×75%≒35,700,000円]

[市債：減収補てん債 11,900,000円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 85,000円]

[諸収入：工事に伴う埋蔵文化財センター光熱水費使用料 14,922円]

○ 目的

埋蔵文化財の調査・保存拠点であり、市内の郷土資料の唯一の展示活用場として、施設の維持管理を図る。

○ 内容

(1)埋蔵文化財センター改修工事 47,685,000 円

開館から20年が経過し、建物、設備等の経年劣化による不具合が発生しているため、機能の維持・回復のための改修工事を行った。令和元年度に実施設計を実施し、令和2年度は工事を実施した。

【工事経費】

- ・外壁・屋根改修工事費 30,360,000 円
(内容：外壁塗装, 屋上防水改修, 自動ドア改修)
- ・空調設備改修工事費 17,325,000 円

(2)施設維持・管理経費 4,819,221 円

【主な経費】

- ・エレベーター保守点検委託料 554,400 円
- ・清掃管理委託料 173,800 円
- ・機械警備委託料 158,400 円
- ・草刈業務委託料(管理地5か所) 1,227,912 円

○ 効果

施設の維持管理を適切に行い、資料の保存環境の充実と利用者の利便性を図った。

[担当：教育総務課 → R3 生涯学習課] P.443

2401 埋蔵文化財調査・整理に要する経費 1,375,780 円 (2,175,505 円)

[その他 2,700 円 一財 1,373,080 円]

* 特財内訳

[諸収入：郷土史売却代 2,700 円]

○ 目的

取手市埋蔵文化財取扱い要領に基づき土木工事や宅地開発等に伴う埋蔵文化財の確認調査や発掘調査に迅速に対応する。発掘調査によって貴重な埋蔵文化財を記録する。

○ 内容

(1)市内遺跡確認・緊急調査の概要

確認調査(試掘)や個人住宅の発掘調査を、市が実施した。

遺跡名・事由・面積	期 間	内 容
西方貝塚(小文間) 個人住宅	4/6~9	遺構なし/縄文土器・石器・骨角器 等出土
大山遺跡(ゆめみ野五丁目) 共同住宅	4/10~15	遺構、遺物なし
台畑遺跡(岡) 太陽光発電所	6/1~2	奈良平安時代竪穴建物跡1軒・ 時期不明土坑6基/遺物なし (狭小作業により立会いにて 対応)

除戸遺跡(井野台四丁目) 個人住宅	確認調査 6/15～16 本調査 7/9～10	土師器期土坑 1 基／遺物なし
宿畑遺跡(稲)-1 太陽光発電所	7/10～28	古墳時代 竪穴建物跡 1 軒・土坑 2 基／土師器片 出土 (狭小作業により立会いにて対応)
宿畑遺跡(稲)-2 太陽光発電所	8/11	時期不明 土坑 2 基／遺物なし (狭小作業により立会いにて対応)
陳谷原遺跡(野々井) 共同住宅	9/7	遺構、遺物なし
大山遺跡(ゆめみ野五丁目)-2 個人住宅	9/8～9	遺構、遺物なし
花輪台遺跡(井野台二丁目) 宅地造成	10/19～28	遺構なし／土師器片・須恵器片・縄文時代 石器 等出土
佃遺跡(寺田)-1 個人住宅	12/21～23	遺構、遺物なし
佃遺跡(寺田)-2 宅地造成	12/22	遺構、遺物なし
西方遺跡(小文間) 個人住宅	12/23	遺構、遺物なし
下高井向原遺跡(下高井) 個人住宅	R3/2/2	遺構、遺物なし
佃遺跡(寺田)-3 個人住宅	R3/2/16～19	遺構、遺物なし

【主な経費】

- ・市内遺跡確認調査発掘作業委託料 1,080,204 円
- ・機器使用料(バックホウ使用料) 198,000 円

○ 効果

令和 2 年度は、縄文時代から古代までの 10 遺跡 14 件を調査した。発掘調査により、重要な市内遺跡の記録保存を実施し、貴重な資料を得ることができた。

[担当：教育総務課 → R3 生涯学習課] P.445

2501 埋蔵文化財センター活動に要する経費 421,728 円 (803,855 円)

[その他 365,000 円 一財 56,728 円]

* 特財内訳

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 365,000 円]

○ 目的

文化財保護施設として、貴重な発掘出土品や歴史資料の収納、整理、研究を実施する。これらの成果を市民に紹介するため、企画展・講演会・講座を開催し、市民の歴史に対する関心を高めるとともに、文化財保護行政に関する理解を深める。

○ 内容

(1)年間来館者数

年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
来館者数	1,552人	3,347人	4,904人

- ・改修工事による休館：5月15日～11月30日
- ・県独自の緊急事態宣言による休館：令和3年1月18日～2月8日

(2)展示活動

展示名	期間	来館者数 (1日平均)	経費	内 容
市制施行 50周年記念・第48回 企画展「取 手の発掘 50年史」	R3/3/30 ～6/6 開館60日	785人 (13.1人)	印刷製本費 385,000円 (ポスター、 解説図録)	土木工事前などに実施される市による発掘調査は、昭和40年代中ごろから本格的に開始された。これは、市制施行の50年とほぼ同じ時を歩んでいる。市制施行50周年の記念企画展として、市の発掘調査の歴史を取り上げ、合わせて地域の先史時代の歩みを紹介する。 ・市内重要遺跡ツアー (定員各10名、案内：企画展担当職員)

○ 効果

活動により、市民の郷土史、市内文化財への関心を高めるとともに、文化財保護行政に対する理解を深めることができた。

6 保健体育費 1 保健体育総務費

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P.447

1001 スポーツ推進委員に要する経費 259,850円 (1,179,290円)

[一財 259,850円]

○ 目的

市民の体力づくりと地域スポーツ活動の振興及び生涯スポーツの振興を図る。

○ 内容

市民のスポーツ活動促進のための組織の育成や、各種大会への指導助言と協力に努める。

スポーツ推進委員報酬 日額6,300円×延べ35人=220,500円

○ 効果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市主催大会が開催できず活動が制限されたが、定例会の開催により今後の活動方針等の協議を行った。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P.449

2001 スポーツ団体育成推進関係経費 8,991,602円 (9,253,000円)

[一財 8,991,602円]

○ 目的

スポーツ団体を育成・支援することにより、市民全体の体力向上とスポーツの普及振興を図る。

○ 内容

団体名	団体数	会員数	活動内容
体育協会	29部	5,175人	例年、体協フェスティバルの開催、視察研修、各種講習会の開催、機関紙の発行、競技別大会の企画運営、指導者の育成などを行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大により活動が一部制限された。
スポーツ少年団	9連盟 33単位団	指導者 288人 団員 1,079人	例年、青少年のスポーツ指導、競技別大会、教室の企画運営、認定員養成講習会、取手ブロック近隣市町村交流会、市主催行事への協力及び参加、各種講習・研修会への参加を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大により活動が一部制限された。

○ 効果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、体育協会及びスポーツ少年団において例年の活動を一部見合わせるがあったが、各部、各団体において感染症対策に工夫を凝らしながら活動し、市民のスポーツ振興が図られた。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P. 449

2003 スポーツ振興奨励関係経費 631,000円 (2,724,000円)

[一財 631,000円]

○ 目的

スポーツ大会出場奨励金を交付することにより、市民スポーツの高揚並びに競技意欲の向上を図る。また、選手も上位大会を目指すことができ、ひいては日本代表や国体選手の育成に繋がることを目的とする。

○ 内容

関東大会以上の大会に出場した者に対し、奨励金を支給することにより出場選手の負担の軽減と優秀選手の育成を図った。

年度		関東大会	全国大会	国際大会
R2	団体	1件	3件	0件
	個人	6件	12件	0件
R1	団体	7件	7件	8件
	個人	7件	40件	1件

○ 効果

奨励金制度を活用することにより、選手の育成と市民におけるスポーツ振興及び団体の育成を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多くの大会が中止となり支給件数も減少となった。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P. 449

2101 学校施設開放に要する経費 492,236円 (482,316円)

[一財 492,236円]

○ 目的

小中学校の学校体育施設を開放することにより、市民のスポーツ振興と健康増進を図る。

○ 内容

市民が行うスポーツ・レクリエーション、文化的活動を支援するため、学校体育施設の開放を実施した。

年度	利用団体数	登録人数	開放学校数
R2	253 団体	6,113 人	23 校
R1	265 団体	6,029 人	23 校

○ 効果

新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年4月から6月及び、令和3年1月から2月において活動を中止する期間があったが、徹底した感染症対策のもと、施設を開放したことで、市民のスポーツ振興及び健康増進と学校体育施設の有効利用が図られた。

6 保健体育費 2 体育施設費

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P. 451

2001 取手グリーンスポーツセンター管理運営に要する経費 131,265,589 円
(195,805,727 円)

[その他 4,600,000 円 一財 126,665,589 円]

* 特財内訳

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 4,600,000 円]

○ 目的

市民スポーツの拠点となるグリーンスポーツセンターを多くの方に利用してもらうため、適正な維持管理を行い、市民の健康増進とスポーツ団体相互の交流を深める。

○ 内容

平成18年度より、指定管理者による管理を実施している。また、令和3年度からの第4期目指定管理者の選定を行った。さらに、新型コロナウイルス感染症により休館となった令和2年3月分の補填を行った。

指定管理料 123,564,456 円

(1)利用状況

(単位:人)

施設名	R2	R1	増減
室内プール	81,108	112,199	△31,091
遊水プール	0	12,752	△12,752
第一体育室	30,568	55,858	△25,290
第二体育室	7,209	10,294	△3,085
トレーニング室	28,832	60,951	△32,119
柔道場	9,511	13,775	△4,264
剣道場	5,219	6,526	△1,307
弓道場	7,255	10,039	△2,784
健康相談室	243	345	△102
スポーツ障害相談室	25	69	△44
研修室	8,486	14,491	△6,005

会 議 室	65	556	△491
和 室	553	1,539	△986
そ の 他	2,374	14,718	△12,344
合 計	181,448	314,112	△132,664

(2) 工事一覧

自動火災報知器更新工事 4,617,800 円

(3) 委託料

第1 体育室床補強工事実施設計業務委託料 495,000 円

○ 効果

利用者にとって安全で安心して利用できるよう、自動火災報知器の更新工事を行った。

利用者の様々なニーズに応えることにより、市民のスポーツ振興の拠点として、健康増進に寄与することができたが、一方で新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年4月から6月及び、令和3年1月から2月において施設を休館する期間があった。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P.451

2003 新型コロナウイルス感染症対策経費 14,121,956 円

[国・県 14,121,956 円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 14,121,956 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症拡大により、休館となった期間の支援金を指定管理者へ交付する。

○ 内容

国の緊急事態宣言の期間中、施設を休館したことによる指定管理者への支援金を指定管理者へ交付した。

○ 効果

指定管理者への支援金を交付することで、公の施設の安定的な管理運営に資することができた。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P.451

2201 藤代スポーツセンター管理運営に要する経費 41,915,305 円 (49,028,547 円)

[その他 8,880,710 円 一財 33,034,595 円]

* 特財内訳

[使用料：藤代スポーツセンター使用料 8,078,660 円]

[繰入金：公共施設整備基金繰入金 800,000 円]

[諸収入：コピー手数料 1,350 円]

[諸収入：印刷機使用料 700 円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、また、憩いの場としての公園施設の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1) 利用状況

施設名	R2	R1	増減
アリーナ	21,078人	29,957人	△8,879人
レクリエーション室	3,216人	3,892人	△676人
多目的グラウンド	3,225人	8,547人	△5,322人
野球場	4,855人	9,799人	△4,944人
テニスコート	9,083人	11,466人	△2,383人
広場計（ピクニック広場、クレア広場）	3,455人	4,002人	△547人
会議室	121人	459人	△338人
合計	45,033人	68,122人	△23,089人

(2) 工事一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
野球場照明電球及び照明器具改修工事	356,400円	R2/4/25～ R2/6/30	野球場照明電球交換修繕（6ヶ所）、野球場照明器具交換修繕（1ヶ所）
合併浄化槽原水ポンプ槽鉄蓋・鉄枠改修工事	275,000円	R2/4/25～ R2/7/31	合併浄化槽原水ポンプ槽鉄蓋・鉄枠修繕
合併浄化槽放流槽原水ポンプNo.1改修工事	88,000円	R2/8/26～ R2/9/30	合併浄化槽放流槽放流ポンプ修繕
案内板改修工事	198,000円	R2/9/25～ R2/11/6	案内板修繕（10カ所）
合併浄化槽放流槽原水ポンプNo.2改修工事	88,000円	R3/1/20～ R3/2/26	合併浄化槽放流槽放流ポンプ修繕
散水栓ポンプ改修工事	1,298,000円	R3/3/3～ R3/3/23	自動給水ポンプNo.1 新規交換 既設自動給水ポンプNo.2 オーバーホール

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができたが、一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年4月から6月及び、令和3年1月から2月において施設を休館及び一部制限する期間があった。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P.453

2301 藤代武道場管理運営に要する経費 4,920,924円（18,971,810円）

[その他 1,599,820円 一財 3,321,104円]

* 特財内訳

[使用料：藤代武道場使用料 1,599,820円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、武道場(柔道場・剣道場・弓道場)の維持・管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1)利用状況

施設名	R2	R1	増減
柔道場	3,631人	7,388人	△3,757人
剣道場	6,097人	8,618人	△2,521人
弓道場	682人	706人	△24人
師範室	1,503人	2,601人	△1,098人
合計	11,913人	19,313人	△7,400人

(2)工事一覧

項目	契約金額	契約期間	内容
ホール部床改修工事	93,500円	R3/3/11～ R3/3/23	ホール部床改修(5箇所)

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができたが、一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年4月から6月及び、令和3年1月から2月において施設を休館及び一部制限する期間があった。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P.455

2401 社会体育施設管理に要する経費(高須体育館・グラウンド) 1,837,028円
(1,965,796円)

[その他 289,000円 一財 1,548,028円]

* 特財内訳

[使用料：高須体育館使用料 289,000円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1)利用状況

施設名	R2	R1	増減
高須体育館	6,141人	8,038人	△1,897人
高須グラウンド	395人	519人	△124人
合計	6,536人	8,557人	△2,021人

(2)施設維持・管理経費

- ・草刈業務委託料 323,910円
- ・樹木剪定業務委託料 492,360円
- ・清掃業務委託料 81,000円
- ・修繕料(暗幕の修繕) 148,500円

○ 効果

施設的环境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた一方で、新

型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年4月から6月及び、令和3年1月から2月において施設を休館する期間があった。

[担当：スポーツ生涯学習課 → R3 スポーツ振興課] P. 455

2402 社会体育施設管理に要する経費(旧取手一中体育施設) 3,742,310円

[一財 3,742,310円]

○ 目的

生涯スポーツ・健康づくりの施設として、施設の維持管理を行うことで、市民が快適な施設でスポーツを楽しむ場の提供を図る。

○ 内容

(1)利用状況

施設名	R2	R1	増減
利用団体数	6団体	—	皆増
登録人数	254人	—	皆増

(2)施設維持・管理経費

- ・雨水貯留槽等点検管理業務委託 2,453,000円
- ・樹木剪定草刈清掃等業務委託料 572,000円
- ・修繕料(グラウンドネット・フェンス等の修繕) 545,710円

○ 効果

施設の環境美化保全に努めながら、円滑な管理運営を図ることができた。

6 保健体育費 3 学校給食センター費

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 457

2001 給食センター運営に要する経費 124,949,562円(124,290,444円)

[その他 101,382,985円 一財 23,566,577円]

* 特財内訳

[諸収入：幼稚園給食代 1,230,208円]

[諸収入：小学校給食代センター分 64,314,723円]

[諸収入：中学校給食代センター分 35,838,054円]

○ 目的

安全でおいしく、栄養バランスのとれた学校給食を提供する。

○ 内容

主に、子どもたちに安全な食材による給食を提供するための経費である。

賄材料費 114,233,808円

○ 効果

安全で栄養バランスに配慮した給食の提供ができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 459

2002 新型コロナウイルス感染症対策経費 2,747,730円

[国・県 1,096,693円 その他 1,245,000円 一財 406,037円]

* 特財内訳

[国補：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,096,693円]

[諸収入：学校臨時休業対策費補助金 1,660,300 円×3/4≒1,245,000 円]

○ 目的

新型コロナウイルス感染症対策のため夏季及び冬季休業日の短縮により、増加した登校日に給食を提供するとともに、臨時休業に伴う学校等給食休止の影響を受けた給食用物資供給業者等に対し支援事業を行う。

○ 内容

- ・夏季及び冬季休業日の短縮により、増加した登校日に会計年度任用職員(学校栄養士)を配置し、給食の提供を行った。
- ・臨時休業に伴う学校等給食休止の影響を受けた給食用物資納入業者に対し、取手市立学校等臨時休業対策費給食事業補助金交付要綱に基づき、補助金の交付を行った。

○ 効果

児童、生徒の教育活動の維持が図られたとともに、給食用物資納入業者の負担を軽減することができた。

[担当：学務給食課 → R3 保健給食課] P. 459

2101 給食センター施設整備に要する経費 39,777,027 円 (62,384,293 円)

[その他 1,920,000 円 一財 37,857,027 円]

* 特財内訳

[繰入金：学校施設整備基金繰入金 240,000 円]

[繰入金：ふるさと取手応援基金繰入金 1,680,000 円]

○ 目的

給食センターの施設管理等の充実を図る。

○ 内容

主な経費

(1) 需用費

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
光熱水費	都市ガス代、水道料、電気料	9,987,845
修繕料	調理機器及び施設修繕料	3,739,076

(2) 委託料

(単位：円)

項 目	内 容	金 額
給食運搬業務委託料	各学校への給食配送業務	16,748,837
真空冷却機点検委託料	真空冷却機の点検	385,000
電気保安業務委託料	電気保守点検	231,000
汚水・排水処理施設清掃点検委託料	汚水・排水処理施設保守点検及び清掃	2,310,000
ボイラー設備総合管理委託料	ボイラー保守点検及び運転管理	1,650,000
生ごみ収集運搬・リサイクル処理業務委託	給食の生ごみ収集から堆肥へ	1,079,210

(3) 工事請負費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
トイレ改修工事	老朽化のためトイレ配管、床の工事	674,300

(4) 備品購入費 (単位:円)

項 目	内 容	金 額
調理機器等の購入	冷凍庫、水切り台、作業台	1,635,920

○ 効果

給食センターの施設整備・衛生管理等の充実を図ることができた。